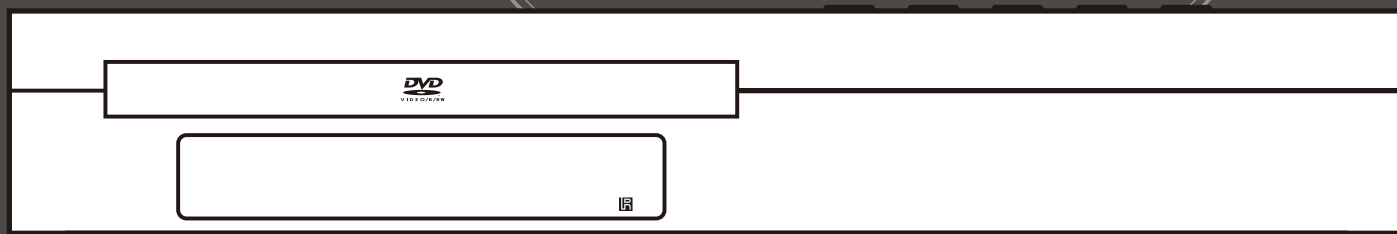
DVD RECORDER
USER'S MANUAL

DVD VIDEO/R/RW

製品型番：DS-DR106

デジスタンス
Digistance

重要!! ご使用にあたり、ご注意頂きたいこと

初期セットアップ

本レコーダーは「初期セットアップ」が完了しないと、ディスクトレイの開閉などの基本的な操作が行えません。

ご使用前には、必ず初期セットアップを行ってください（時計、チャンネル読み込みなどの設定）。

初期セットアップ画面は、電源・テレビ・アンテナとの接続が完了後、本レコーダーの電源を入れると、テレビ画面に表示されます。付属のリモコンを用い、画面案内に従って設定を行ってください。

▶詳しい手順については、本取扱説明書のP12をご覧ください。

地上デジタル放送についての注意

2011年 アナログテレビ放送終了
地上デジタル放送をご覧いただくには専用チューナーが必要となります。 総務省

本機はアナログ放送の受信機器です

本製品に搭載されているテレビチューナーはアナログ放送受信専用のものです。付属品のみを用いた通常のご使用では、アナログ放送の録画・再生にのみ対応しております。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災、感電等人身に危険が及ぶ場合があります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための注意事項や、お取り扱いの方法を示しています。本書をよくお読みになり、本書の指示に従い、正しくお使いください。

また、お読みになった後でも、いつでも本書をご覧になれるよう、分かりやすい場所に大切に保管してください。

必ずお読みください

■正しくお使いいただくための注意

本製品はクラス１レーザー製品です。レーザー光により、火災の原因となったり、目等に損傷を与えるおそれがありますので、決して分解しないでください。

■取り扱いについて

●お手入れの仕方

本体のフレームやパネルの汚れは、水で薄めた中性洗剤を布に含ませて、拭き取ってください。そのとき、水分が本体内部に入らないように注意してください。

シンナー・ベンジンなどの溶剤やアルコールは使用しないでください。塗装がはがれたり､パネル面が溶けるおそれがあります。

●結露について

本体を寒い場所から急に暖かい場所に移すと、空気中の水分が本体の冷えた部品等で水滴に変化し、付着する現象が結露です。

結露が起こると予想される場合は、本体の電源を入れずにしばらく放置し、本体を部屋の温度になじませてから使用してください。

●設置場所について

・なるべく平坦な場所に設置してください。
・上にテレビ等の重たいものや、花瓶等水気のあるものを置かないでください。故障のおそれがあります。
・本体の上下に、熱を発するものを置かないでください。また、本体を布等で覆わないでください。本体内部に熱がこもり、発熱、故障、または発火のおそれがあります。
・湿気やホコリ、油煙、湯気の多い場所や、直射日光の当たる場所には置かないでください。特に風呂場や加湿器のそばで使用しないでください。
・タバコの煙や、くん煙殺虫剤が本体内部に入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

■録画やダビングについて

●大切な録画の場合

ディスクの規格や仕様、本体との相性の不一致、ディスクの生産状態により、正しく録画できない場合があります。必ず事前に録画の試験をして、正常に録画・録音されていることを確認してください。

●録画内容の補償はできません

万一、本機のディスクユニットや DVD-R ／ DVD-RW ディスクの不具合、故障、修理、交換、およびその他の内外的な原因により、録画や編集ができなくなったり、録画したものが破損、消失した場合等、いかなる場合や原因においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害において、当社では一切責任を負いません。

DVD の編集機能や､ファイナライズ処理､上書き機能等により､録画された内容が失われることがあります。

●録画やダビングの制限について

AV 端子から入力して、他の機器からの録画・ダビングを行う場合は､「録画禁止」の信号が含まれていないことが条件になります。「録画禁止」の信号が含まれているものを録画することはできません。

■著作権について

・あなたが本機で録画･録音したものは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
・本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者により複製を制限する旨の信号が放送、およびソフトに含まれている場合、録画することができません。
・本機には、画面の比率を変える設定項目があり、それにより画面の見え方に違いが出ます。そのとき、飲食店やホテル等で、公衆に視聴させることを目的として、画面の比率を変更して再生を行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

■ご了承いただきたいこと

・本書の内容、本製品の仕様、外観、価格等につきましては、将来予告無く変更する場合があります。それによる逸失利益等につきましては、弊社では一切責任を負えませんのでご了承ください。
・本書は万全を期して作成いたしましたが、万が一内容に相違がありましたら、弊社までご連絡ください。
・本書の内容の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社で無断で使用できません。
・本機の使用、あるいは本機の修理、破損、交換により生じた傷害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきまして、弊社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。
･本書のイラストや図解は、実際のものと異なる場合があります。
・保証書への購入日・販売店の記載の無いもの、故意に改ざんされたもの、または記載された内容に相違のある場合は、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご了承ください。
・本製品を飲食店や店頭展示等の目的で長時間連続して使用された場合、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご了承ください。
・本製品は日本国内での使用を目的として製造されています。海外でのご使用に関するサポート対応はできません。ご了承ください。

■ディスクの注意

●ディスクの取り扱いについて

・ディスクを取り扱う時はふちを持ち、読み取り面に触れて傷や指紋を付けないようにしてください。
・ディスクはケースに入れて保存してください。
・直射日光が当たるところや温度が高いところ等に置かないでください。
・ディスク表面に、鉛筆やボールペン等を用いて書き込まないで

ください。
・次のようなディスクは使用しないでください
①円形以外に細工されたディスク
②セロハンテープやレンタルディスク等のシールについている糊がはみ出ているディスク
③明らかに修復した跡のあるディスク
④シールが貼られているディスク
・ディスクの拭き取りには乾いた布、または少量の水を用い、内周から外周に向かって回転軸に対して垂直方向に拭き取ってください。
・ベンジンやシンナー、静電気防止剤等の溶剤を用いないでください。ディスク表面がただれるおそれがあります。

●本機で使用するディスクについて

・8cm ディスクの書き込みには対応しておりません。
・書き込みに使用するディスクは「ビデオ用」「for Video」の表記のあるものを使用してください。
・本機は CPRM の復号には対応しておりませんので、他の DVD レコーダーでデジタル放送を録画したディスクを読み取ることはできません。
・他の機器で録画された DVD-R/RW は、記録状態、傷や汚れ、ディスクの特性、互換性等により、再生できない場合があります。特に正しくファイナライズ処理を行っていないディスクについては、再生ができません。詳しくは、他の DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
・本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計をされています。最近の CD の中には、著作権保護を目的とした技術が搭載されたディスクが販売されています。それらの中には CD 規格に準拠していないものもあり、再生ができない場合があります。例：コピーコントロール CD 等。

●ディスクドライブの取り扱いについて

・本体にディスクを入れたまま、動かしたり振動を与えないでください。ディスクに傷がつくおそれがあります。
・ディスクトレイにDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。故障の原因となります。

■リージョンコード（地域番号）について

リージョンコードとは、DVD メディアの販売・視聴地域を限定するために、国別に１～６までの番号が割り当てられています。DVD レコーダーの番号と DVD メディアの番号が一致していなければ再生できません。

本機に対応しているリージョンコードは２です。２以外のリージョンコードが設定されているディスクを再生することはできません。

リージョン１	アメリカ・カナダ
リージョン２	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン３	東アジア・東南アジア・香港
リージョン４	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン５	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン６	中国

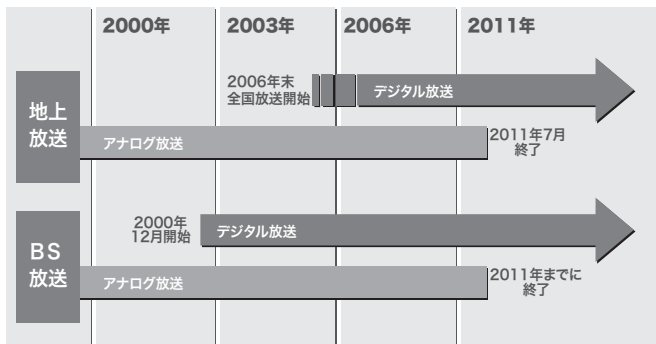
■本機はアナログ放送受信機器です

本製品に搭載されているテレビチューナーはアナログ放送受信専用のものです。付属品のみを用いた通常のご使用では、アナログ放送の録画・再生にのみ対応しております。

※地上波デジタル放送についてのご相談は…
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
ナビダイヤル：0570-07-0101

■アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の道府県庁所在地周辺でも 2006 年 12 月までに開始されました。現在受信可能エリアは限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は 2011 年 7 月、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

■本機でデジタル放送を録画するには

地上波デジタル放送を録画するには別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー搭載機器との接続が必要です。

機器の接続方法については、デジタルチューナー搭載機器のメーカーにお問い合わせください。

※本機で録画を行った場合、デジタル放送の画質を維持したままでの録画はできません。デジタル放送は番組によって録画禁止の信号が含まれている場合があります。デジタルチューナーとの接続が正しく行われている状態でも録画ができない場合があります。

Chapter 1

準備と接続

・付属品の確認

・アンテナ線の接続、映像／音声の接続

・デジタルオーディオを接続する

・外部 AV 機器を接続する

・リモコンの準備

・電源を接続する

■付属品の確認

箱を開けたら、付属品がそろっていることを確認してください。

- ●リモコン
- ● AV（映像／音声）ケーブル
- ●取扱説明書
- ●保証書
- ●クイックガイド

■アンテナ線の接続と、映像／音声の接続

アンテナケーブルおよびアンテナコネクタは付属しておりません。別途お買い求めください。テレビアンテナや AV ケーブル等の接続は、電源ケーブルをコンセントに差し込む前に行ってください。下図を参照しながら、①～④の手順で接続を行ってください。

① A - 1 ～ 3 の接続／テレビアンテナ線の用意

…お使いのテレビアンテナの仕様に合わせて、3 つのうちのいずれかの手法で、アンテナ線を用意します。

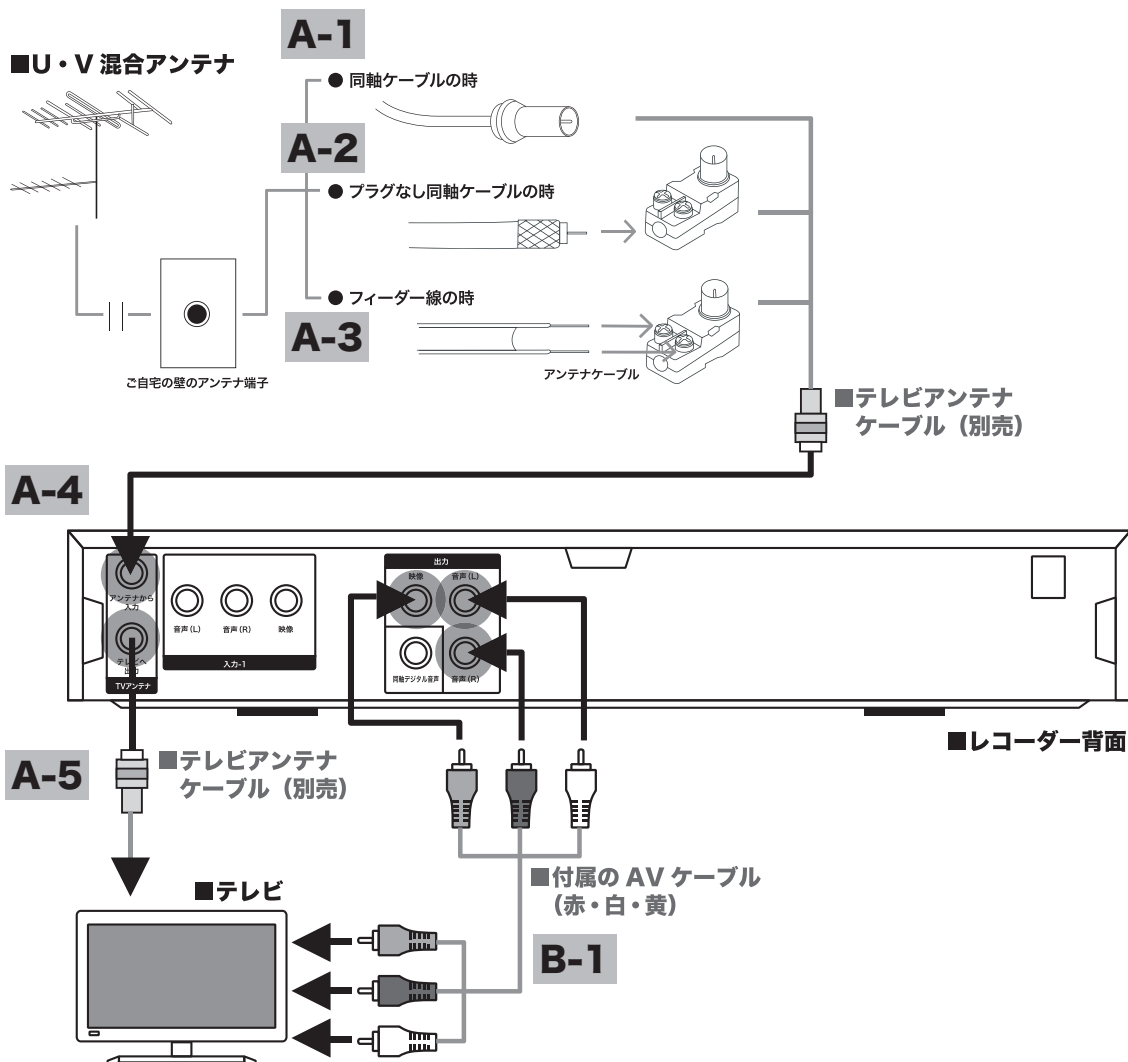
② A - 4 の接続／レコーダーへのアンテナ線の入力

…①で用意したアンテナケーブルを、本 DVD レコーダー背面にある「アンテナから入力」に接続します。

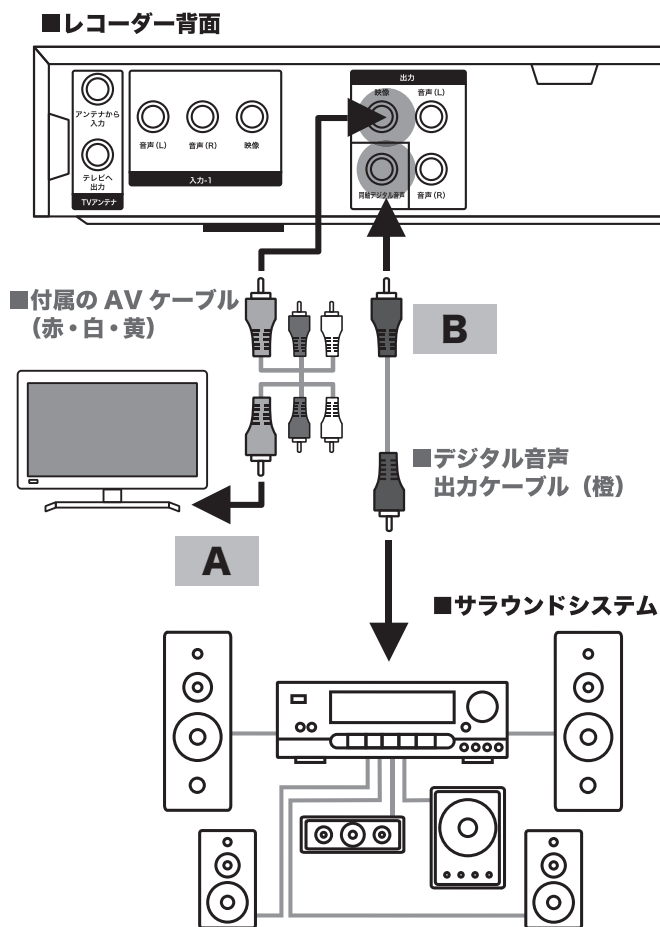
③ A - 5 の接続／レコーダーからテレビへのアンテナ線の出力

…アンテナケーブルを使い、本レコーダーの背面にある「テレビへ出力」から、お使いになるテレビ側の「アンテナ入力」へつなぎます。

④ B - 1 の接続／ AV ケーブルによるレコーダーとテレビの接続

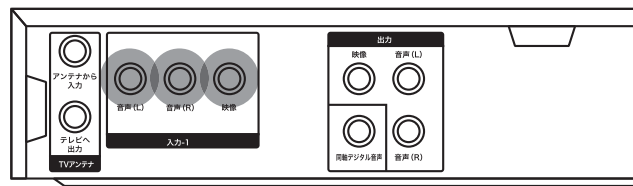
…付属の AV ケーブルを用いて、レコーダー背面にある「映像・音声出力」とテレビ側の「映像・音声入力」をつなぎます。

■デジタルオーディオを接続する

同軸デジタル音声端子から、デジタルオーディオアンプに接続することができます（図中 B)。

※映像側は AV ケーブルを用いて、別途テレビと接続してください（図中 A)。
※光デジタルには対応しておりません。
※セットアップ画面で、「SPDIF 出力」を「オフ」に設定しますと､デジタルオーディオアンプから音が出ません。必ず｢RAW｣または「PCM」に設定してください。

■外部 AV 機器を接続する

ビデオや BS チューナーなどの機器を、映像／音声（AV）ケーブルを用いて本体の外部入力（本体の背面）に接続してください。

接続した機器の映像を見るには、リモコンの入力 -1（背面 AV 入力）ボタンを押します。

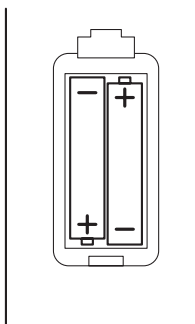
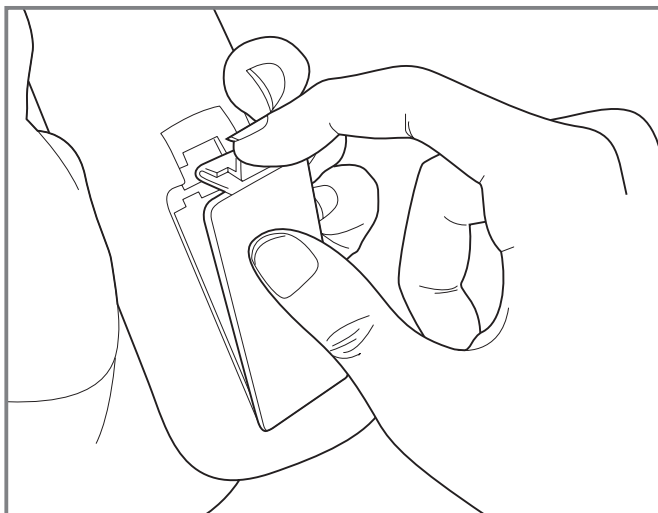
■レコーダー背面

■リモコンの準備

本機を使用する前に、リモコンに電池をセットしてください。

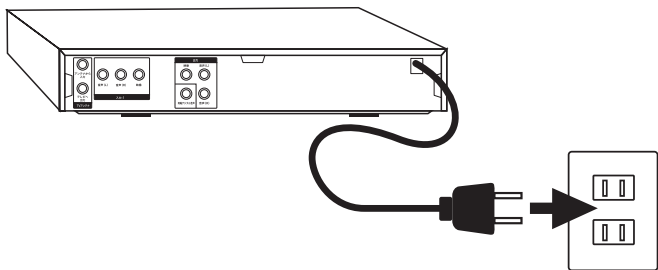
●リモコンの電池の入れ方

①リモコンの裏側についている電池のふたの先端につまみがあります。それを指で押し、そのまま上方向に押し上げてふたを取り外してください。
②単４電池を挿入してください。電池の−側を先に合わせ、＋側に電池を倒すようにしてセットします。＋と−を間違えないように気をつけてください。
③電池のふたを取り付けます。

●注意

・長時間使用しない場合は、電池を抜いてください。
・電池のプラス、マイナスを間違えないよう、正しくセットしてください。
・付属のリモコン用電池は、動作確認用のため、すぐに電池切れになる場合があります。異なる種類の電池や、古い電池と新しい電池を混合して使用しないでください。使用する電池は、単４型電池２本です（※マンガン電池推奨)。
・使用済みの電池は放置しないでください。液漏れの原因となります。また、電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体で定められた方法で適切に処理してください。

■電源を接続する

電源の接続は、その他の接続が完了した後に行ってください。
電源の接続を誤ると、故障の原因となります。

・長期間使用しない場合は、コンセントから抜いてください。
・長期間電源を差し込んだままで使用すると、コンセント付近に大量の埃が貯まり、発火、火災の原因となりますのでご注意ください。
・たこ足配線を行うと、電源コードに過剰な電流が流れる場合があり、大変危険ですのでお止めください。
・電源ケーブルは束ねて使用しないでください。

■家庭用コンセント

●リモコンの電源ボタンで電源が入るか確認する

本体のデジタル表示が HELLO に変わり、接続したテレビに初期設定の画面が表示されます。

・リモコンが効きづらい時は…
　リモコン受光部に直射日光や照明器具等からの強い光が当たっていると、リモコンが効きづらくなります。光が当たらない場所に本体を移し、リモコンが操作できることを確認してください。また、リモコンと本体との間に障害物がある場合は取り除いてください。
・リモコンで他の機器が作動した場合…
　本体、または他の機器の向きを変える等、本体正面とその機器のリモコン受光部が同じ向きにならないようにしてください。

Chapter 2

初期セットアップ

- 日付／時刻の設定
- テレビチューナーの設定
- 設定の完了

Chapter 2　初期セットアップ

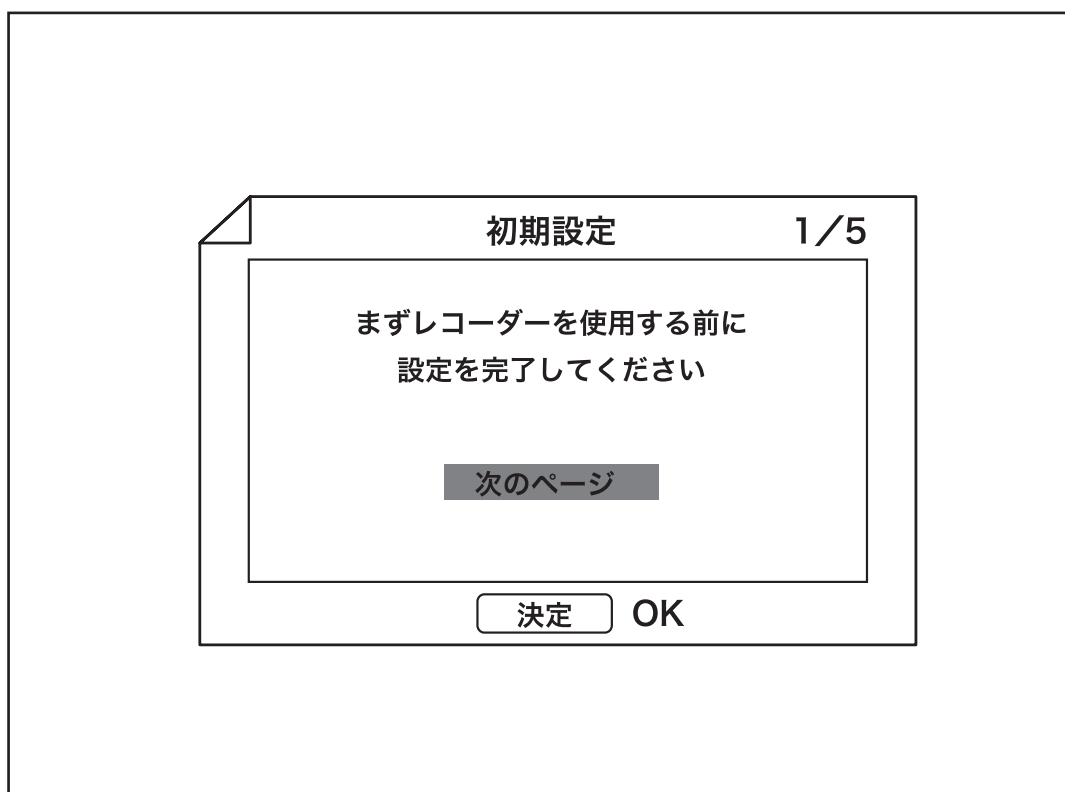
…ご使用前には必ず「初期セットアップ」を行ってください。初期セットアップが完了していないと、ディスクトレイは開くことができません。また電源のオン／オフを含め全ての操作が行えないので、ご注意ください。

Chapter1 の接続を終え、テレビ側の入力切替（ビデオ 1 など）を行なった後、本レコーダーの電源を入れます。テレビ画面上にレコーダーを使用する前に初期設定を完了するよう、案内が現れます（下図参照）。

ウィンドウの案内に従って、設定を完了してください。

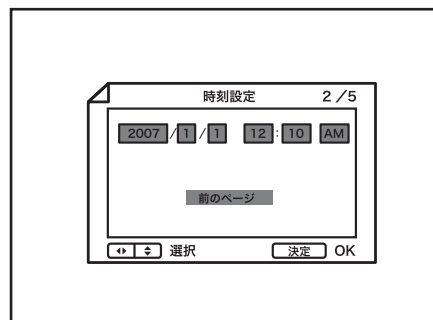
■使用するボタン

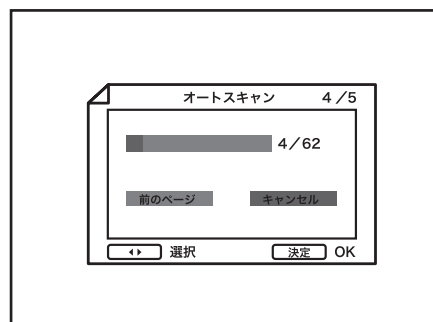
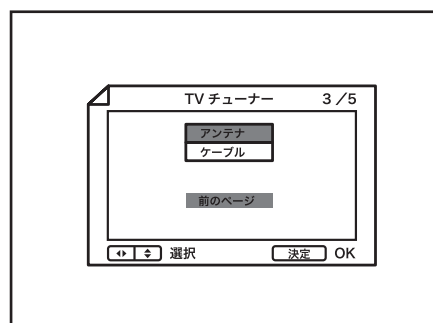
●**上下左右ボタン**：選択項目を移動するときに使います。
●**決定ボタン**：選択項目を決定するときに使います。

…下のトップ画面より「決定ボタン」を押し、次の画面に進みます。

▶初期セットアップ画面

①日付／時刻の設定

ここでは、現在の日付と時刻を入力します。
左から、年（西暦）、月、日、時、分、AM/PM です。
左右ボタンで選択項目を移動し、上下ボタンで数値を変更します。現在の日付・時刻を入力し終わったら、決定ボタンを押して次の画面に進んでください。
年で左ボタンを押すか、AM/PM で右ボタンを押すと、「前のページ」が選択されます。

※時計は定期的に調整を行なってください。詳しくは Chapter9 の「時刻設定」をご覧ください。

②テレビチューナーの設定

つづいてテレビチューナーの選択をします。
上下ボタンで「アンテナ」「ケーブル」のいずれかを選択します。決定ボタンを押すと、オートサーチ（受信可能な放送局を自動的に探します）を開始します。
「アンテナ」を選択すると、放送局に割り当てられたチャンネル番号と本機のチャンネル番号が一致します。「ケーブル」を選択すると、ケーブルテレビで使用されているチャンネルを含めてサーチしますので、多くの放送局が視聴できる反面、本機のチャンネル番号が放送局に割り当てられたチャンネル番号と一致しないことがあります。
方向ボタンの右、または左を押すと、「前のページ」が選択されます。決定ボタンを押すと、日付・時刻設定まで戻ります。

③設定の完了

「設定が完了しました」と表示され「完成」を選択して決定ボタンを押すと、初期セットアップが完了し、通常通り使用することができます。

Chapter 3

テレビを観る

・テレビを観る

・かんたん録画を行う

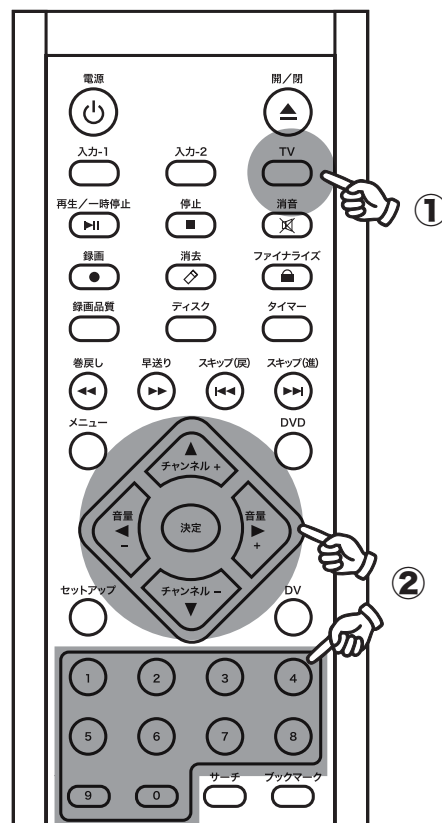
■テレビを観る

　本機のテレビチューナーを使い､テレビを観ることができます。また、ディスクトレイに挿入された書き込み可能な DVD に録画することができます。

①リモコンの TV ボタンを押す

　本体がテレビモードになります。

②上下ボタン、または数字ボタンを押して、チャンネルを変更します。

　数字２桁でチャンネル番号を指定してください。例えば４チャンネルの場合、０４と押してください。

■かんたん録画を行う

　現在視聴しているテレビの内容をディスクに録画することができます。また､30 分刻みで自動的に録画を終了できる「ワンタッチ録画」機能もあります。

①録画品質を選択します

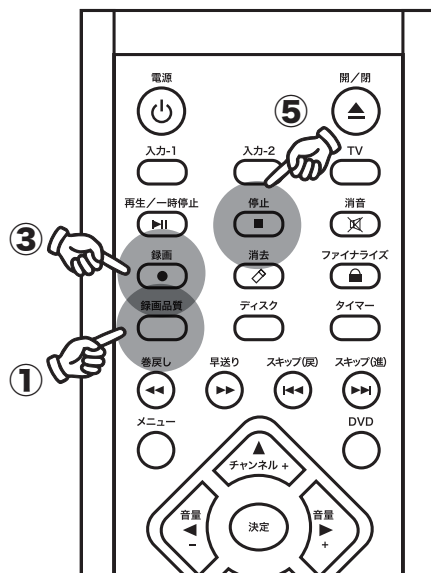
　リモコンの録画品質ボタンを押して、録画品質を選択します。HQ がもっとも高画質である反面、DVD-R/RW に録画できる時間は最も短く、１時間程度になります。SEP がもっとも録画時間が長い反面、画質がかなり悪くなります。

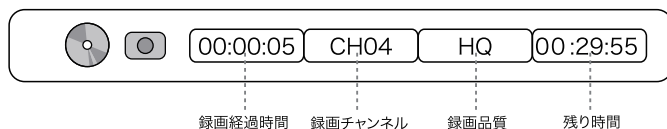
②書き込み可能 DVD メディアを挿入します

③録画ボタンを押すと、現在視聴しているテレビ番組が録画されます。

④録画ボタンを続けて押すと、30 分刻みで録画時間を指定できます。指定した録画時間が経過すると、自動的に録画が終了します。

⑤停止ボタンを押すと、録画終了処理が始まり、しばらくすると録画が終了します。

　ディスクがいっぱいになっても、自動的に録画は終了します。

※本ページでは本機を通したテレビ視聴と、かんたん録画について紹介しました。録画・編集に関する詳細は、後の CHAPTER5・6 で紹介しています。

▶画面下部に表示される、録画設定画面

Chapter 4

DVD を観る

- DVD ビデオを再生する
- 早送り、巻戻しをする
- 頭出しをする
- プログラム再生
- 字幕、音声、アングルの切替え
- 繰り返し再生を行う
- ブックマーク
- 画面の拡大、縮小
- インフォボタン

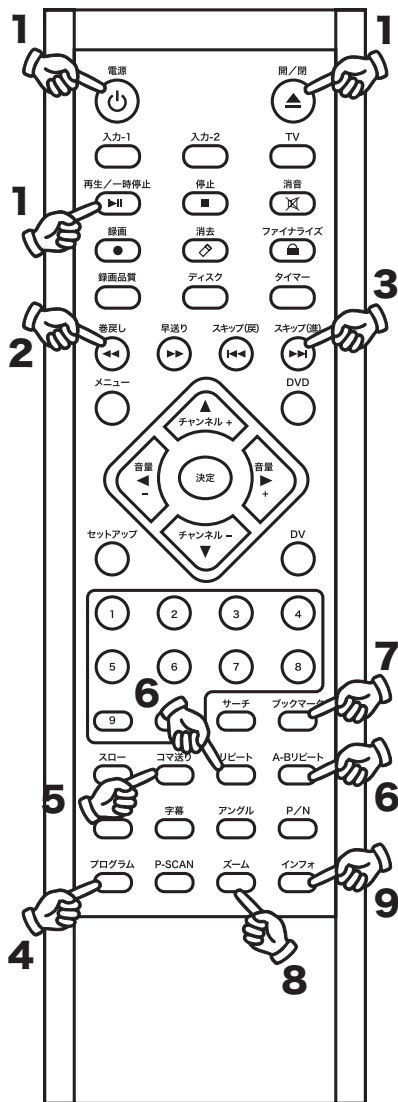
Chapter 4　DVD を観る

■再生前に、以下の点にご確認ください

● CD-R/RW、DVD-R/RW のご使用に際して、ディスクまたはレコーダー等の作成機器等の互換性や記録状態、記録状況によって再生できない場合があります。

●本機で再生できるディスクのフォーマットは、DVD ビデオです。VR モードで記録された DVD や、ファイナライズ処理が正しく行われていない DVD は再生できません。

●市販の DVD ソフトのリージョンコードについて…
DVD ソフトとプレーヤー両者のリージョンコードが一致しなければ、ソフトを再生することができません。
注意：本製品のリージョンコードは「2」です。「2」以外の DVD ソフトは再生されません。

DVD 再生についてご紹介します。操作説明と、下のリモコンイラストの番号を照らし合わせてご確認ください。

●リモコンをお使いになる前には、電池のセットを行ってください（Chapter1　準備と接続参照）。

●リモコン操作は、レコーダー本体にあるリモコン受光部に向けて行ってください。

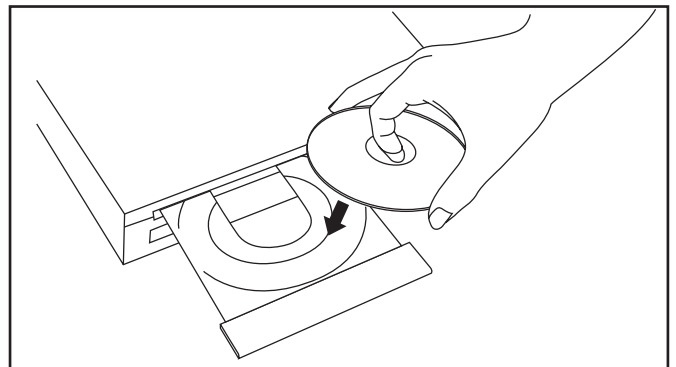
●リモコン及び、レコーダー本体の各部詳細については、後のページ「Chapter 8　各部の機能について」でご紹介します。

1. DVD ビデオを再生する

DVD に記録されている映像を再生します。

①ディスクをセットする

本体、またはリモコンのディスク取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開けてください。

ディスクを読み取り面を下にして、１枚だけディスクトレイにセットしてください。ディスク取り出しボタンを押して、ディスクトレイを閉じます。

※本機で再生できるディスクのフォーマットは､DVD ビデオです。VR モードで記録された DVD や、ファイナライズ処理が正しく行われていない DVD は再生できません。

② DVD モードに切り替える

テレビなど別の入力が選択されている場合は、リモコンの DVD ボタンを押して、DVD モードに切り替えてください

③ディスクを再生する

再生ボタンを押して、ディスクの再生を行ってください。ディスクの中には、自動的に再生が始まるものもあります。

2.早送り、巻戻しをする

映像を再生しているときにリモコンの早送り、巻戻しボタンを押すと、映像が早送り／巻戻しされます。

続けて押すと、スピードが変わります。最高で 32 倍速になります。

※早送り／巻戻しの最中に、音声は出力されません。
※コンテンツ制作者により、早送り／巻戻しが制限されている場面があります。その場面では操作できません。

3.頭出しをする

再生中にスキップ（戻る／進む）ボタンを押すと、前もしくは次のチャプターに飛びます。また、数字ボタンでチャプター番号を指定すると、その番号のチャプターに飛びます。

※コンテンツ制作者により、頭出しの操作ができない場面があります。

4.プログラム再生

特定のタイトル・チャプタを、ユーザーの指定した順番で、再生させることができます。

プログラムボタンを押し、再生したいタイトル・チャプタを順番に入力します。存在しないタイトル・チャプタ番号は入力できません。

入力した一番最後の項目（例えば、リストの７番目まで入力したら、７番目）でリモコンの停止ボタンを押すと、その項目に入力したものは削除されます。

最高で 20 項目まで入力できます。

入力を途中で中止するには、選択項目を「閉じる」に合わせ、リモコンの決定ボタンを押します。

入力が終わったら、選択項目を「再生」に移動し、リモコンの決定ボタンを押すと、プログラム再生が開始されます。

プログラム再生を中止するには、プログラムボタンを押し、「停止」を選択して決定ボタンを押すと、プログラムが消去されます。プログラム編集の画面を閉じると、続きから再生されます。

5.字幕、音声、アングルの切替

●字幕

字幕の切替えには、以下の３つの方法があります。

①セットアップ画面の「一般」＞「字幕」から、他の言語を選択する
②リモコンの「字幕」ボタンを押す
③ディスクメニュー（コンテンツに用意されている）から、他の言語を選択する

…ディスクによって、いずれかの方法が効かない場合は、他の方法を試してみてください。

※ディスクコンテンツに字幕が用意されていない場合は、字幕を表示することができません。
※ディスクメニューに字幕切替が用意されていない場合は、再生中にリモコンの「字幕」ボタンをお使いください。

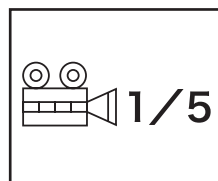
●音声

音声の切替えには、以下の３つの方法があります。

①セットアップ画面の「一般」＞「音声」から、他の言語を選択する
②リモコンの「音声」ボタンを押す
③ディスクメニュー（コンテンツに用意されている）で、音声を選択する

※ディスクコンテンツが音声切替に対応していない場合は、これらの操作は無効です。
※ディスクメニューに音声切替が用意されていないコンテンツもあります。この場合は再生中にリモコンの「音声」ボタンを押してください。

●アングル切り替え

DVD の同じ場面に複数の映像が収録されている（マルチアングル）場合、アングル切替可能マークが表示されます。そのときにリモコンの「アングル」ボタンを押して､アングルを切り替えます。

※アングル切替可能マークは、セットアップ画面の「ディスク」＞「アングルマーク」を切にすることで､隠すことができます。

6.繰り返し再生を行う

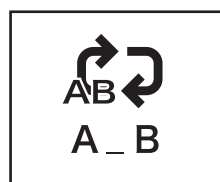
●チャプタ、タイトル、ディスク全てを繰り返し再生する

リモコンの「リピート」ボタンを押すことで、現在再生中のチャプタ、タイトルを繰り返し再生したり、ディスク全てを繰り返し再生したりすることができます。

「リピート」ボタンを繰り返し押すことによって、「チャプタ」「タイトル」「全て」「オフ（繰り返ししない）」を切替えます。

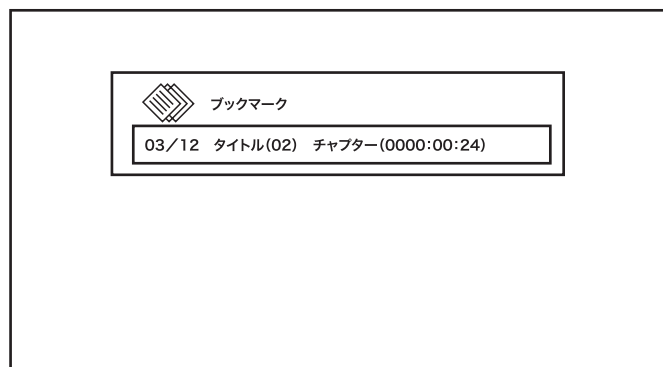
●一定区間を繰り返し再生する

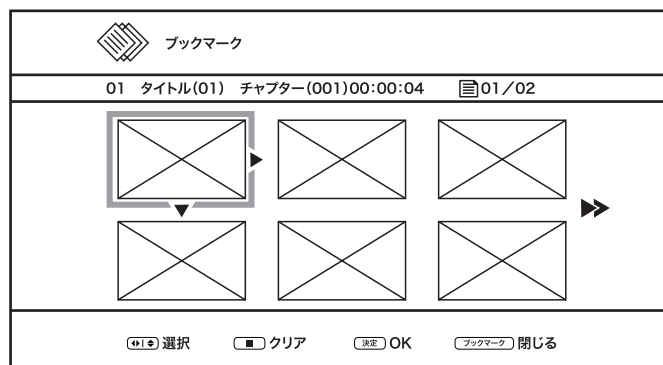
リモコンの「A-B リピート」ボタンを使用します。

繰り返しを開始したい場面で１度押し、終了したい場面でもう一度押すと、一度目に押した場面から二度目に押した場面までを繰り返し再生します。

解除するには、もう一度 A-B リピートボタンを押します。

7.ブックマーク

現在再生中の場面を記憶しておき、後で記憶した場面を呼び出すことができます。

リモコンのブックマークボタンを押すと現在再生中の場面が記憶され、図 A のような画面が表示されます。

A

ブックマークを長く押すと、ブックマークボタンを押して記憶していた場面の縮小画面（サムネール）が一覧表示されます（図 B 参照）。選択して再生、編集できます。

B

●サムネール画面内での操作

- **方向ボタン：場面を選択します**
- **停止ボタン：記憶していた場面（ブックマーク）を削除します**
- **決定ボタン：選択した場面を再生します**
- **ブックマークボタン：この画面を閉じます**

8.画面の拡大／縮小

DVD の再生中にズームボタンを押すと、画面の一部分が拡大表示されます。繰り返し押すことで２倍、３倍、４倍に拡大されます。

※拡大表示された部分は、方向ボタンで上下左右に移動することが可能です。

さらにズームボタンを押すと、１／２、１／３、１／４に縮小表示されます。

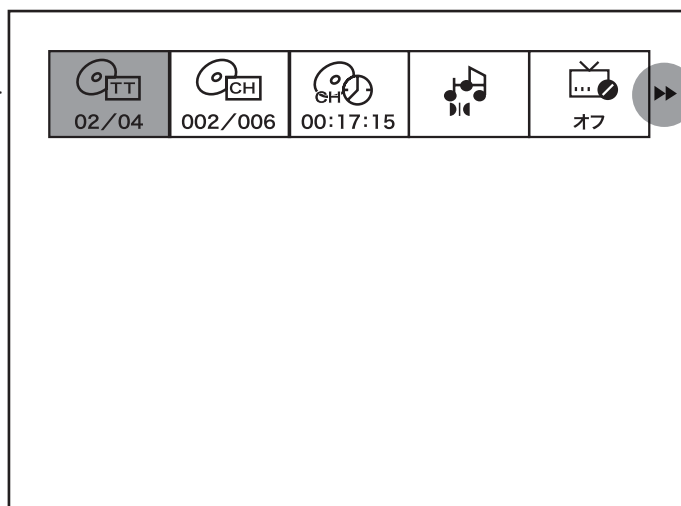
１／４の縮小表示のときにズームボタンを押すと、原寸表示に戻ります。

原寸→ｘ２→ｘ３→ｘ４→ｘ１／２→ｘ１／３→ｘ１／４→原寸

9.インフォボタン

DVD、CD 再生中にインフォボタンを押すと、画面上部にバーが表示され、現在の再生状況を一覧できます。左右ボタンで各項目に移動します。

※この図は DVD 再生中の表示です。
※画面には９つのうち５つ表示されます。左右ボタンを押すことで、表示されていない項目が表示されます。

選択中の項目は、色が反転して表示されます…

…右方向に表示されていない項目があります

▶画面上部に表示される、インフォ画面

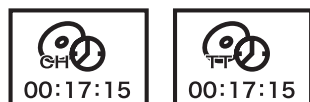
①タイトル

現在再生中のタイトルです。上下方向ボタンを押すと、別のタイトルに移動します(DVD によって、制限されている場合があります)。

②チャプター

現在再生中のチャプターです。上下方向ボタンを押すと、別のチャプターに移動できます（DVD によって、制限されている場合があります)。

③経過時間／残り時間

現在再生中のタイトル／チャプターの経過時間および残り時間を表示します。上下ボタンを押すと、表示がタイトル残り時間→チャプター経過時間→チャプター残り時間→タイトル経過時間に切り替わります

④音声切替

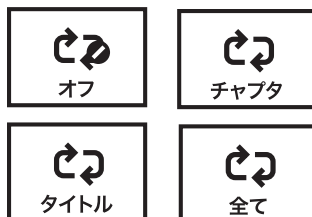
DVD に複数の言語が収録されていれば、切替えることができます。上下ボタンで選択し、決定ボタンで確定します。

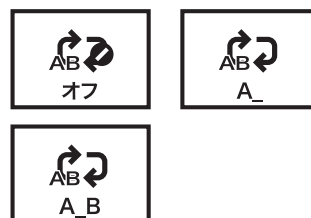
▶AC3 2CH 日本語

⑤字幕切替

DVD に字幕が収録されていれば、切り替えることができます。上下ボタンで選択し、決定ボタンで確定します。

⑥リピート

チャプター、タイトル、ディスクのすべてを繰り返し再生します。上下ボタンで選択します。

⑦ A-B 間リピート

特定の区間を、繰り返し再生します。再生中開始場所と終了場所で上下ボタンを押すと、その２点間を繰り返し再生します。

⑧ランダム再生

チャプター／タイトルの再生順序をランダムにします。上下ボタンでオン、オフを切り替えます。

⑨ OSD 言語

画面表示で使われている言語を英語と日本語から選択できます。上下ボタンで選択し、決定ボタンで画面表示の言語が変更されます。

1 English
▶ 2 日本語

Chapter 5

DVD に録画する

・録画できるディスクの種類

・録画品質

・テレビから録画する

・AV 入力から録画する

・タイマー録画を行う

・録画に関する注意

Chapter 5　DVD に録画する

■録画できるディスクの種類

本機で録画できるディスクは、DVD-R/RW です。

ディスクの種類	DVD-R	DVD-RW
対応バージョン	8 倍速まで　CPRM 対応 *1 ／非対応	
最長録画時間	約 6 時間	
記録可能タイトル	48 タイトル	
ファイナライズ	○	○
ファイナライズ解除	×	○
上書き	×	○
ディスクの初期化	×	○

*1　ディスクが対応していても、本機の仕様上、デジタル録画はできません。
*2　二層式ディスク（DL）には対応しておりません。

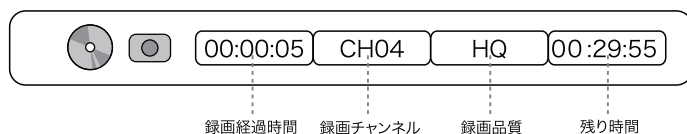
■録画品質

録画ボタンを押して、現在視聴中のテレビを録画するには、予めリモコンの「録画品質」ボタン、またはセットアップ画面「録画」>「録画品質」から、録画品質を選ぶ必要があります。

録画品質	録画時間
HQ	約 1 時間
SP	約 2 時間
LP	約 3 時間
EP	約 4 時間
SLP	約 6 時間

録画品質を下げると、長時間録画可能です。録画品質を上げると、録画可能時間は短くなります。

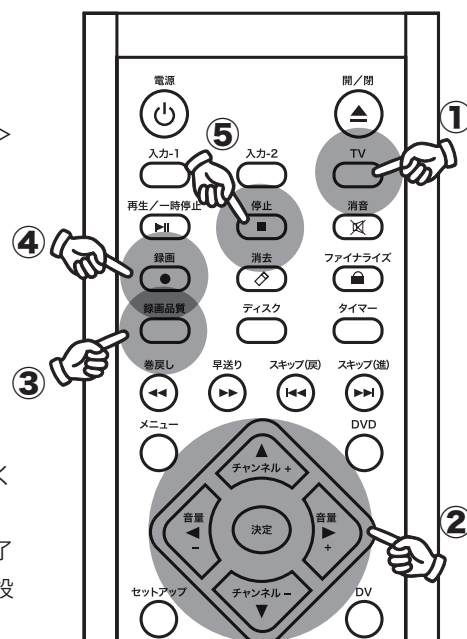
■テレビから録画する

現在ご覧になっているテレビ番組を録画することができます。また、ワンタッチ録画機能では 30 分きざみで録画終了時間を設定することができます。

▶画面下部に表示される、録画設定画面

●かんたん録画

① TV ボタンを押します。
②上下方向ボタンでチャンネルを切替えます。
③録画品質を選択します。
録画品質は、リモコンの「録画品質」ボタン、またはセットアップ画面の「録画」>「録画品質」から、録画品質を選択できます。
④録画ボタンを押します。
録画ボタンを押した場面から録画が開始されます。
⑤停止ボタンを押します。
録画は終了します。

●ワンタッチ録画

上記手動録画の終了時間を 30 分刻みで指定することができ、停止ボタンを押さなくても、指定した時間が経過すると録画が自動的に終了します。
録画ボタンを押し、録画開始後に再び録画ボタンを押すと、30 分後に録画が終了します。複数回録画ボタンを押すと、60 分後、90 分後のように、録画終了時間を設定できます。

■ AV 入力から録画する

AV 入力端子に接続したチューナー、またはプレーヤーの映像を、録画することができます。

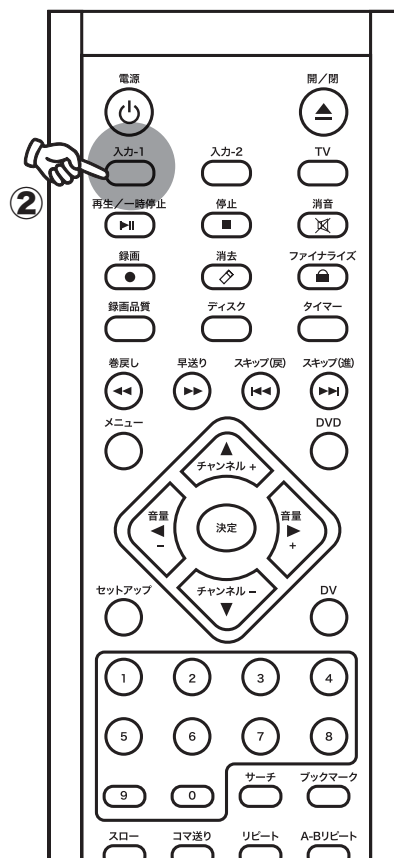
① AV1（背面 AV 入力端子）に外部機器を接続します

レコーダー本体の接続については、Chapter 1　準備と接続〜をご覧ください。

②リモコンで、入力 -1 ボタンを押します

③テレビ画面に、正しく外部機器の映像が映っていることを確認します

④タイマー録画、または通常の録画の方法で録画します

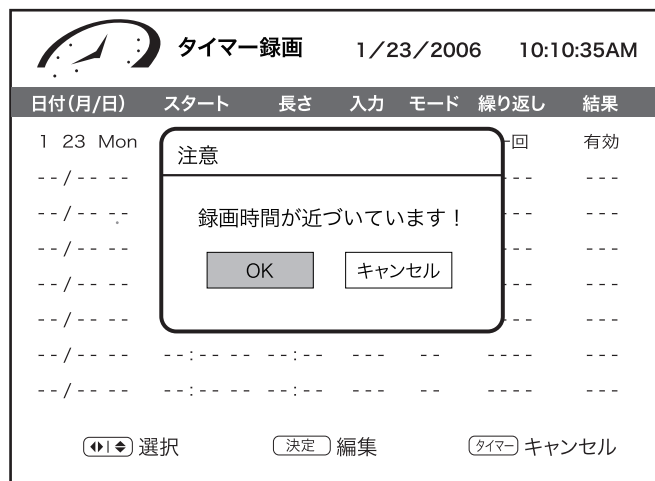
※市販の DVD ソフトやデジタル放送等、コピープロテクトの施されている映像を録画することはできません。

■タイマー録画を行う

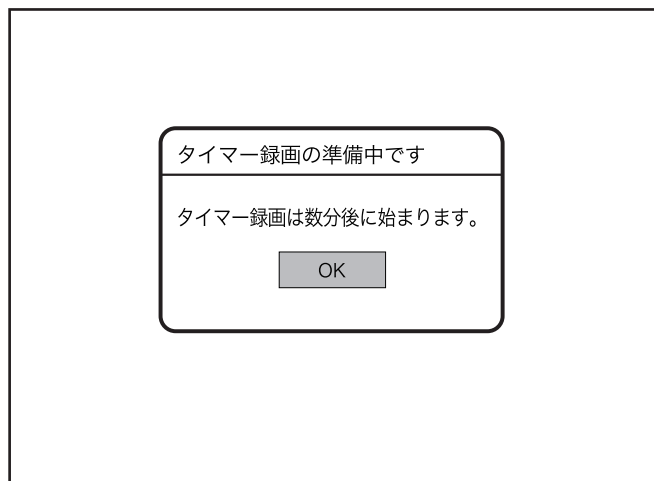
指定した時刻に、指定した時間だけ、チャンネル／外部機器の映像を録画することができます。

●タイマー録画予約をする

リモコンの「タイマー」ボタン、またはセットアップ画面の「録画」＞「タイマー録画」を選択して、タイマー録画の画面を表示させせます。最大８個まで録画予約ができます。

▶左図タイマー録画画面の内容

左画面内の番号	内容
①現在の日付／時刻	現在の日付と時刻です
②日付	録画する日付です
③スタート	タイマー録画を開始する時刻です
④長さ	録画する期間です
⑤入力	録画するテレビのチャンネル、または外部入力の選択です
⑥モード	録画品質です
⑦繰り返し	一回、月～金、毎週、毎日から選択できます
⑧結果	タイマー録画予約の状態です。入力できません

●新規登録

タイマー録画登録リストの中で、何も入力されていない部分をリモコンの上下ボタンで選択し、決定ボタンを押すと、新規登録ができます。日付、曜日、スタート、長さ、入力、繰り返しを入力します。

リモコンによる操作は以下の通りです。

- **左右ボタン　：項目の左右移動**
- **上下ボタン　：項目の数値の変更**
- **決定ボタン　：タイマー録画予約の確定**

また、タイマー録画予約した時間が近づくと、テレビ画面に下記のような表示が現れます。

●録画リストの編集

すでに登録されているタイマー録画予約について、予約内容の変更と、予約の削除ができます。

タイマー録画一覧を開き、項目を選択し、決定ボタンを押します。

・編集	：予約内容を変更します
・予約削除	：タイマー録画予約を削除します
・キャンセル	：タイマー録画一覧に戻ります

タイマー録画画面での注意

※曜日について

曜日の表記は、画面表示言語が日本語でも、英語表記です。

Sun →日曜／ Mon →月曜／ Tue →火曜／ Wed →水曜／ Thu →木曜／ Fri →金曜／ Sat →土曜

※録画期間は、録画終了時刻ではありません。例えば 1 時間録画したい場合は、1:00 と入力してください。

※レコーダー内蔵の時計は、正確に調節してください。正しい時刻に録画できない場合があります。また、停電等により、現在時刻が消去され、録画できない場合がありますので、ご了承ください。

※ディスクの容量がなくなった場合、タイマー録画中であっても、録画が中止されます。ディスクの残量にはご注意ください。

※録画が終了しても、タイマー録画の登録は残っていますので、手動で消去してください。

■録画に関する注意

※セットアップ画面「録画」＞「上書き」をオンにして、DVD-RW にディスクの空き容量を超えた録画を行うと、保護されていないタイトルが無条件に削除されます。

これは、録画容量を確保するために行うものです。

大切な記録が入った RW に録画を行う場合は、ディスクの空き容量に十分注意し、タイトルの保護をかける、またはディスクの上書きを行わない設定をして、自動的にタイトルが削除されないようにしてください。

詳しくは、Chapter 9　の「上書き」を参照ください。

※ディスクの種類にもよりますが、空のディスクを本機にセットしたとき初期化を促すメッセージが表示される場合があります。画面案内に従い、必要に応じて操作を行なってください。また、通常の初期化の操作については Chapter6 の初期化（→P34）に記載してあります。

Chapter 6

録画したDVDを編集する

・録画したDVDを観る

・タイトルの編集をする

消去／選択／名称変更／チャプター編集

インデックスピクチャの変更／分割／保護

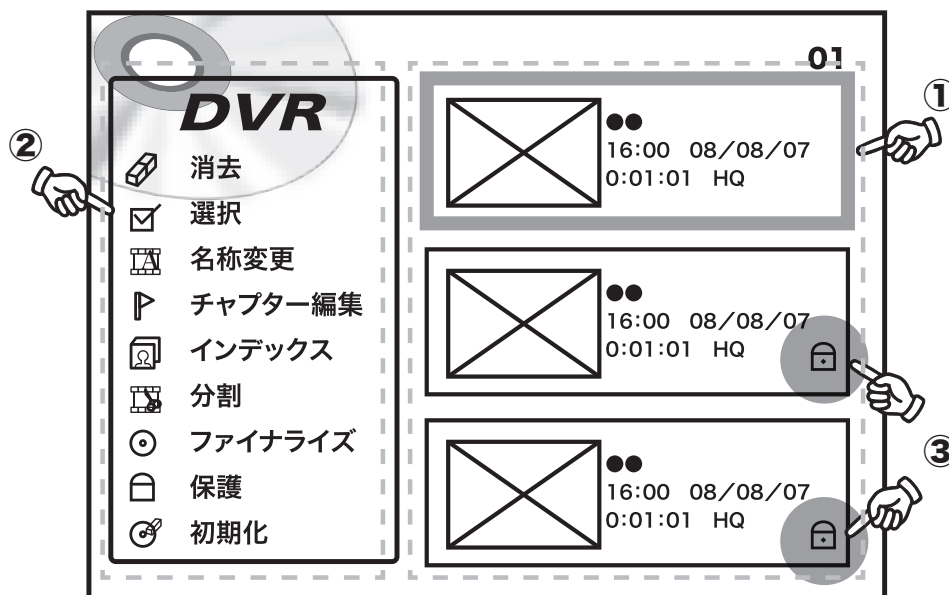
・ディスクボタンで表示されるメニュー

ディスク情報／初期化／ディスク保護

互換性作成／適合

・ファイナライズについて

■録画した DVD を観る

本機で録画した DVD-R/RW は、以下のようなディスクメニューが表示されます。

①タイトル	：選択して決定ボタンを押すと、再生します（上図の約右半分）。
②編集メニュー	：タイトルの選択、保護、分割等、様々な操作を行います。ファイナライズを行うと、このメニューは隠れます。（上図の約左半分）
③保護されたタイトル	：タイトルの右下に鍵のマークがつきます。

上記ディスクメニュー画面内でのリモコン操作は、以下の通りです。

・上下ボタン　：タイトルの選択を移動します
・スキップ（進）：次のページに進みます。
・スキップ（戻）：前のページに戻ります。
・左右ボタン　：タイトルの選択と、メニュー項目の選択を切替えます。

※再生中に停止ボタンを押すと、「Digistance」のロゴが表示されて止まります。
※再生中にメニューボタンを押すと、このディスクメニューに戻ります。

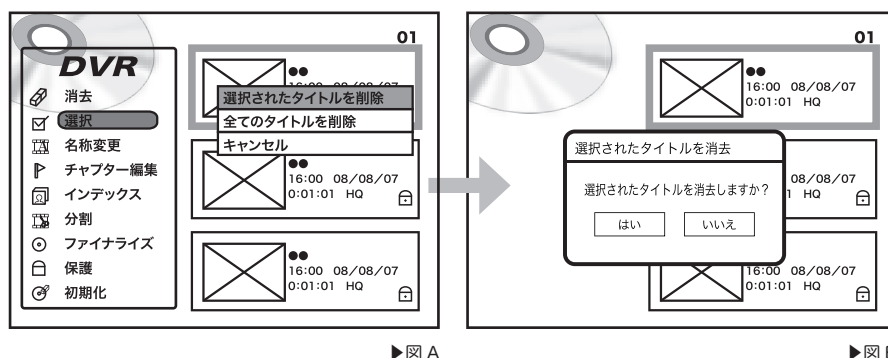
■タイトルの編集をする

●消去

選択されたタイトル、または全てのタイトルを消去します。

消去したいタイトルを選択して左ボタンを押し、消去を選択して決定ボタンを押します。選択されたタイトルを削除、全てのタイトルを削除、またはキャンセルのいずれかを選択してください（図 A）。

削除を選択した場合は、確認の画面を表示します（図 B)。確認終了後、内容は消去されます。

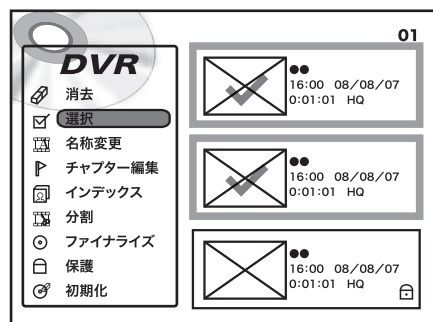
▶図 A　▶図 B

タイトル消去に関する注意

※「選択」を使って複数項目の選択を行っている場合、チェックがついているタイトルが全て削除されます。
※保護されたタイトルは消去できません。
※ DVD-R の場合、またはセットアップ画面の「録画」＞「上書き」がオフになっている場合、削除した分を別の録画で使用することはできません。

●選択

複数項目を選択し、タイトルの保護、保護解除、削除を一括して処理することができます。

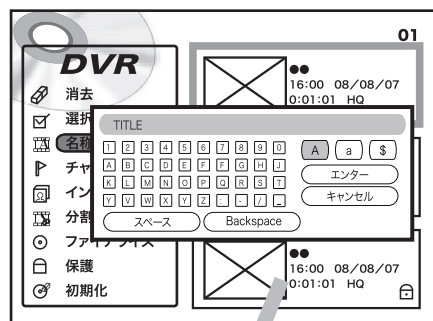
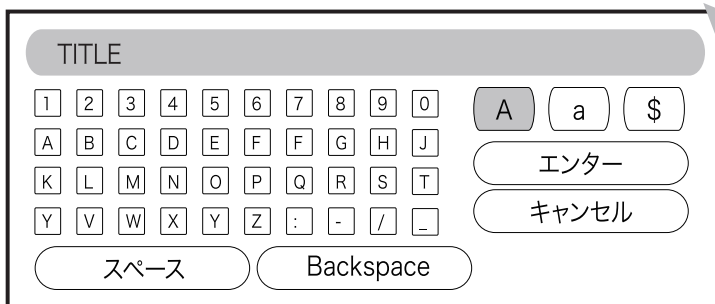
タイトルを選択して左ボタンを押し、「選択」を選択して決定ボタンを押すと、チェックマークがつきます。別のタイトルを選択して、「選択」を実行し、複数のタイトルにチェックマークをつけることで、複数のタイトルを選択することができます。

チェックマークを外すには、もう一度タイトルを選択し、「選択」を実行してください。

●名称変更

タイトルの名前を変更することができます。

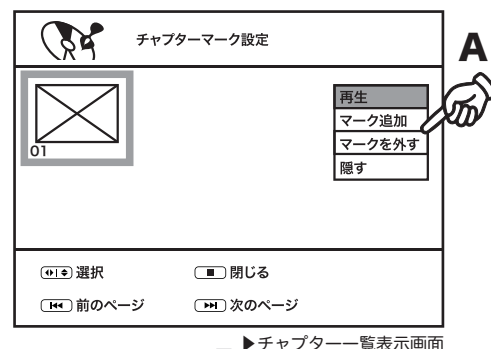
タイトルを選択して左ボタンを押し、「名称変更」を選択して決定ボタンを押すと、名前の入力画面が開きます。

上下左右ボタンで選択項目を移動し、決定ボタンで現在選択されている文字の入力等ができます。入力できる文字は、英語または記号です。

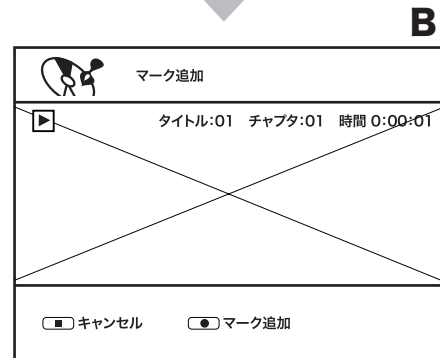
名前入力画面での操作は、以下の通りです。

- **・名前　：入力中のタイトルの名前です**
- **・A（右上）　：大文字（ABC）を入力するモードに切替えます。**
- **・a　：小文字（abc）を入力するモードに切替えます。**
- **・$　：記号を入力するモードに切替えます。**
- **・スペース　：空白を入力します。**
- **・Backspace　：名前入力フィールドで、選択されている文字の左側を消去します。**
- **・エンター　：タイトルの名前を確定し、書き換えます。**
- **・キャンセル　：タイトル名の変更をせず、前の画面に戻ります。**

●チャプター編集

　タイトルのチャプターを追加、削除を行います。

　右はチャプターの一覧表示です。チャプターの一番始めの場面が、縮小表示されて表示されます。画面内でのリモコン操作は以下の通りです。

・方向ボタン	**：チャプターの選択をします。**
・スキップ（戻）	**：前のページに戻ります。**
・スキップ（進）	**：次のページに進みます。**
・■	**：この画面を閉じ、前の画面に戻ります。**
・決定ボタン	**：チャプターのサムネールにチェックをつけます。再び決定ボタンを押すと、チェックが外れます。**

▶チャプター一覧表示画面

　チャプター一覧画面、右側 A 部分のメニューについて…

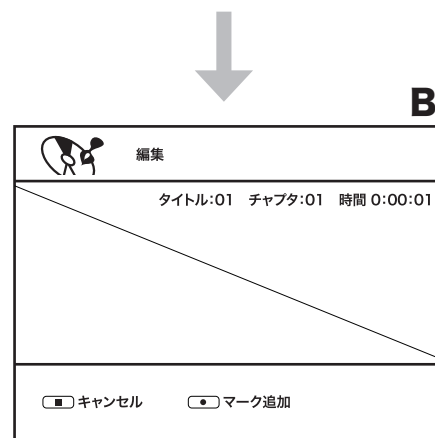
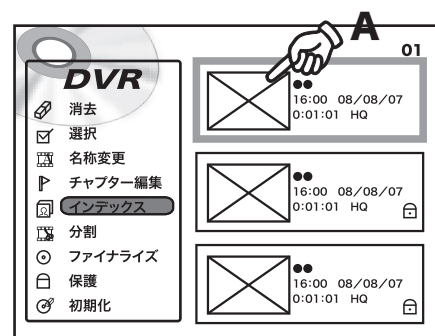
・再生	**：チェックが一つだけついている場合､そのチャプターを再生します。■ボタンを押すと、前の画面に戻ります。チェックが入っていないか､複数のチャプターにチェックが入っていると､再生できません。**
・マーク追加	**：チャプターを追加します。マーク追加を選択すると、チャプター追加のための再生が開始されます（右図 B)。チャプターを追加したい場面で｢録画ボタン｣を押すと､そこにチャプターの先頭部分が追加されます。編集を終了するには、■ボタンを押します。** **※１タイトルあたり、98 チャプターまで追加できます。**
・マークを外す	**：チャプターを削除します。先頭のチャプターは削除できません。**
・マークを隠す	**：チャプターを隠し、頭出しによりそのチャプターにジャンプしないようにします。｢マークを隠さない｣を選択すると､チャプターは元に戻ります。先頭のチャプターは隠すことができません。**

▶マーク追加画面

●インデックスピクチャの変更

　ディスクメニューに表示されているタイトルのサムネール（縮小表示）が変更できます（右図の A 部分)。

　ディスクメニューで、タイトルを選択し、左ボタンを押して「インデックス」を選択して決定ボタンを押すと、インデックスピクチャに設定する場面を決めるための再生が始まります。

　設定したい場面で「録画」ボタンを押すと､その画面がインデックスピクチャとなり､ディスクメニューのサムネールが変更されます。

　変更したくない場合は、■ボタンを押すと、変更せずに前の画面に戻ります。

▶マーク追加画面

●分割（RW のみ）

タイトルを二つに分割できます。

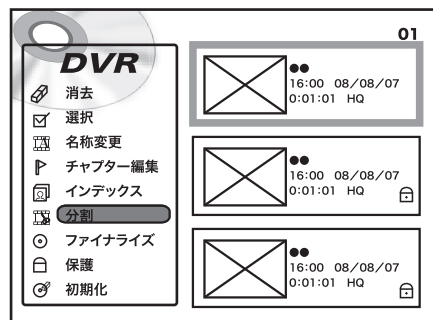
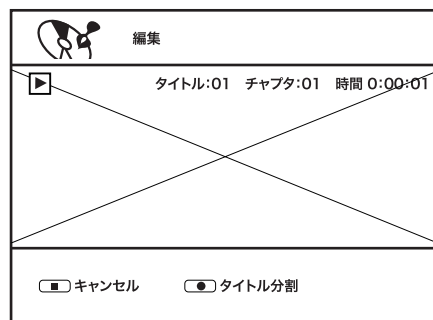
ディスクメニューでタイトルを選択して左ボタンを押し､｢分割｣を選択して（右図 A）決定ボタンを押すと、分割位置を決定するための再生が始まります（右図 B)。

分割したい位置で「録画」ボタンを押すと、そのタイトルはそこを境に２つに分割されます。

■ボタンを押すと、タイトルは分割されずに前の画面に戻ります。

※タイトルが 48 個ある場合、分割することはできません。

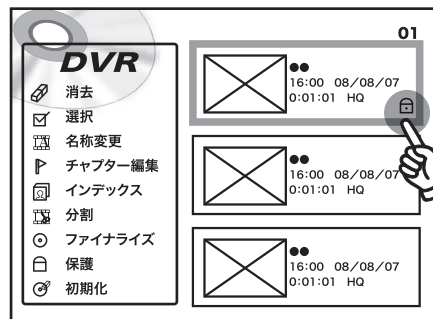
A

B

▶分割位置の指定画面

●保護

タイトルの保護を行うと、そのタイトルの分割、削除、チャプター編集、インデックスピクチャの変更など、一切の変更ができなくなります。

※ DVD-RW の場合で、セットアップ画面の「録画」＞「上書き」がオンになっている場合でも、タイトルの保護を行うことにより、自動的にタイトルが削除されません。

保護をかけたいタイトルを選択して左ボタンを押し、「保護」を選択して決定ボタンを押すと、タイトルが保護され、鍵のアイコンがつきます。

■ディスクボタンで表示されるメニュー

リモコンの｢ディスク｣ボタンを押すと､現在のディスクの情報と､初期化（DVD-RW のみ）やファイナライズ、ディスク保護、互換性処理、適合を行うことができます。

●ディスク情報　…現在のディスクの情報を見ることができます。

・ラベル	**：ディスクの名前です。**
・残り時間	**：録画できる時間です。録画品質と､録画可能時間が表示されます。**
・メディア	**：メディアの種類です。**
・状態	**：保護されているかどうか、ファイナライズが行われているかどうかが表示されます。**
・ディスク使用量	**：黄色いバーが録画されている部分､白いバーは残り容量を示しています。**

●初期化（RWのみ）

ディスクに書き込まれた内容を完全に消去します。

初期化を選択して右ボタンを押し、OKを選択して決定ボタンを押すと、ディスクの初期化が始まります。

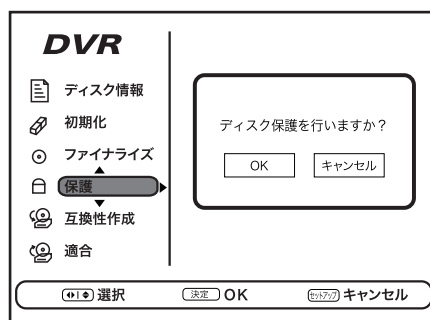
※一つ以上のタイトル、またはディスクに保護がかけられていると、初期化することはできません。

●ディスク保護

ディスク全体に保護をかけ、記録、編集、初期化ができないようにします。

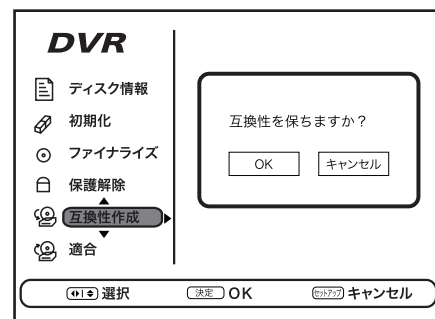
保護を選択して、右ボタンを押し、OKを選択して決定ボタンを押すと、ディスク保護の処理が行われます。

ディスクが保護されている状態では、メニュー項目｢保護｣が｢保護解除｣になっています。

ディスクの保護を解除するには、同じメニューから「保護解除」を選択して右ボタンを押し、OKを選択して決定ボタンを押します。

●互換性作成（RWのみ）

他DVDレコーダー／プレーヤーとの互換性を保つための処理を行います。

互換性作成を選択して右ボタンを押し、OKを選択して決定ボタンを押すと、互換性処理を行います。

※全てのDVDレコーダー、プレーヤーで使用可能になるとは限りません。
※DVDレコーダーによっては、本機で書き込んだ後に、追加で録画できない場合があります。

●適合

他DVDレコーダーで録画したDVD-R/RWを、本機で追加録画できるようにします。

適合を選択して右ボタンを押し、OKを選択して決定ボタンを押すと、適合処理を行います。ディスクメニューも、本機で使用されているレイアウトに変更されます。

※他レコーダーで録画したDVDを挿入すると、適合処理を行うか確認する画面が表示されます。そこでOKを選択すると、適合処理が行われます。
※ファイナライズ済みのディスクは適合処理することはできません。

■ファイナライズについて

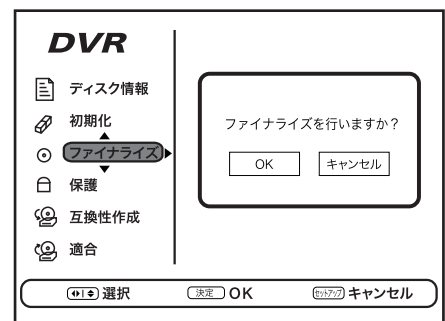
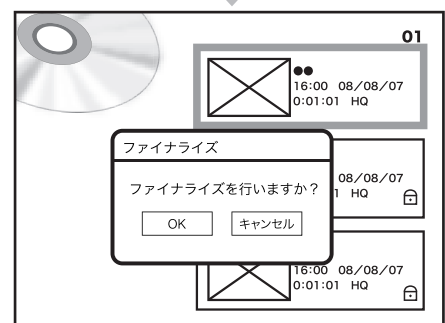
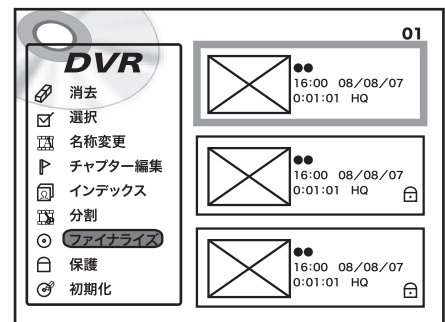
ファイナライズとは、他 DVD プレーヤーで読み込みが可能になるよう、ディスクへの書き込みを終了し、互換性を高める処理を意味します。この処理を行うと、他の DVD プレーヤーで再生を行うことが可能になる場合があります。

ディスクへの書き込みを終了する処理を行うため、DVD-R の場合は、これ以上ディスクに書き込むことができなくなります。

ファイナライズを行うにはディスクメニュー（右図 A)、またはディスクボタンで表示されるメニュー（右図 B）から、ファイナライズを選択してください。

※この処理によって、全ての DVD レコーダーおよびプレーヤーでの再生を保証するものではありません。

DVD-RW の場合は、ファイナライズを解除することができます。ディスクボタンを押すと表示されるメニューから、「ファイナライズ解除」を選択して右ボタンを押し、OK を選択して決定ボタンを押しますと、ファイナライズが解除され、追加録画ができるようになります。

※他の DVD レコーダーで録画し、ファイナライズを行った DVD-RW は、ファイナライズ解除することができません。

Chapter 7

音楽、動画、画像ファイルを再生する

- 再生できるディスクの種類
- CD を再生する
- 再生できるファイルについて
- ディスクに保存されているファイルを見る
- 音声ファイルを再生する
- 動画ファイルを再生する

■再生できるディスクの種類

再生できるディスクの種類は、以下の通りです。
DVD-ROM、CD-ROM、DVD-R/RW、CD-Audio

※一部音楽 CD に採用されている、著作権保護を目的としたコピーコントロール CD 等は再生できない場合があります。

■ CD を再生する

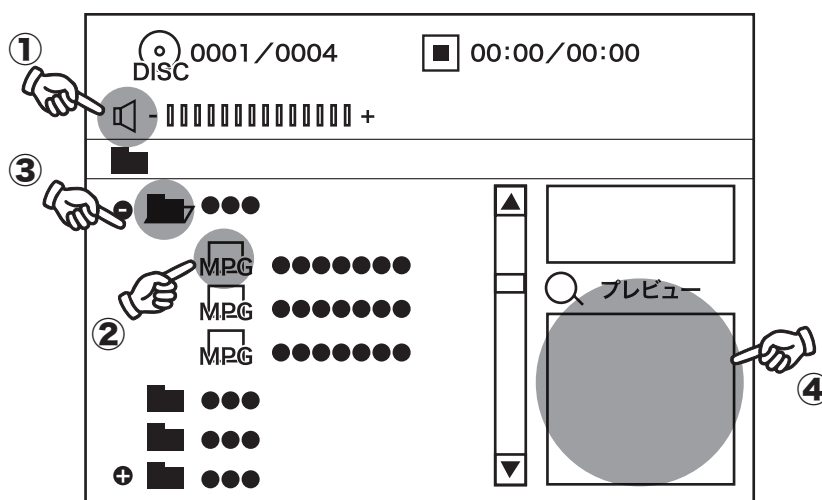
CD-Audio、および CD-ROM に収録されたファイルを再生できます。

■再生できるファイルについて

CD-ROM や DVD-ROM、DVD-R/RW に収録されている音楽、動画、映像ファイルを再生できます。

※日本語のファイル名がつけられているファイルは、文字が化けて正しく表示できません。

■ディスクに保存されているファイルを見る

データファイルの入ったディスクを入れると、データファイル再生画面が表示されます。再生可能ファイル以外のファイル（拡張子で判断されます）は隠されます。

①音量	：再生される時の音量です。　※デジタル音声出力では無効です
②ファイルアイコン	：ディスクに収録されている曲、またはファイルです。
③フォルダアイコン	：ディスクに存在するフォルダ（ディレクトリ）です。
④プレビュー	：JPEG ファイルを選択したときに、その画像を縮小表示します。

フォルダアイコンの左に＋印がついている場合は、フォルダが閉じた状態です。アイコンを選択して決定ボタンを押すと、フォルダの中身が下に表示されます。

フォルダアイコンの左に–印がついている場合は、フォルダは開いた状態です。アイコンを選択して決定ボタンを押すと、フォルダの中に入っているファイル・フォルダの表示が隠れます。

※フォルダが空の場合は、フォルダアイコンの左側に何も表示されません

■音声ファイルを再生する

CD-R、CD-ROM、CD-Audio、DVD-R/RW、DVD-ROM に収録されているファイルを再生できます。

※ビットレート、圧縮方式により、再生できない場合があります。

■動画ファイルを再生する

CD-R、CD-ROM、CD-Audio、DVD-R/RW、DVD-ROM に収録されている mpeg4 ファイルを再生できます。

※作成環境や圧縮方式によっては、再生できない場合があります。
※ムービーファイルに使用されている音声の圧縮方式により、ムービーファイルの音声が出ない場合や、音声と映像にずれが生じる場合があります。

Chapter 8

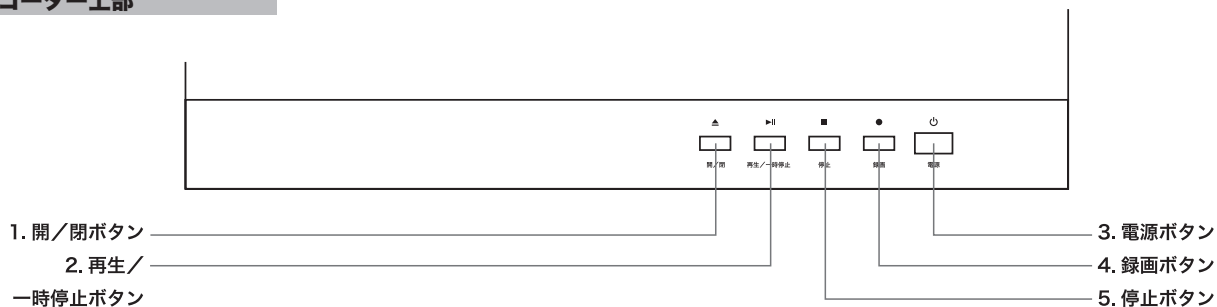
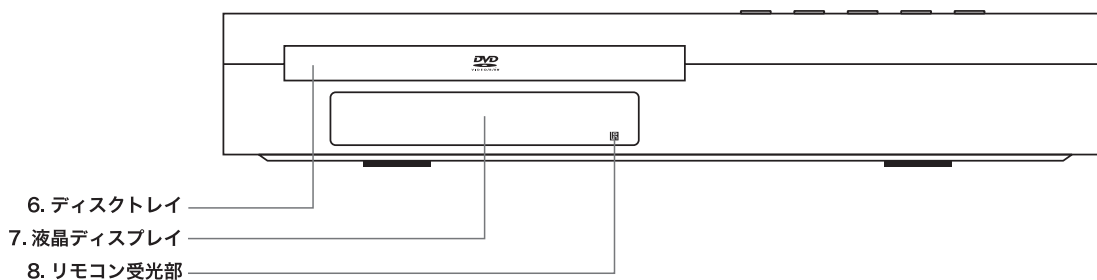
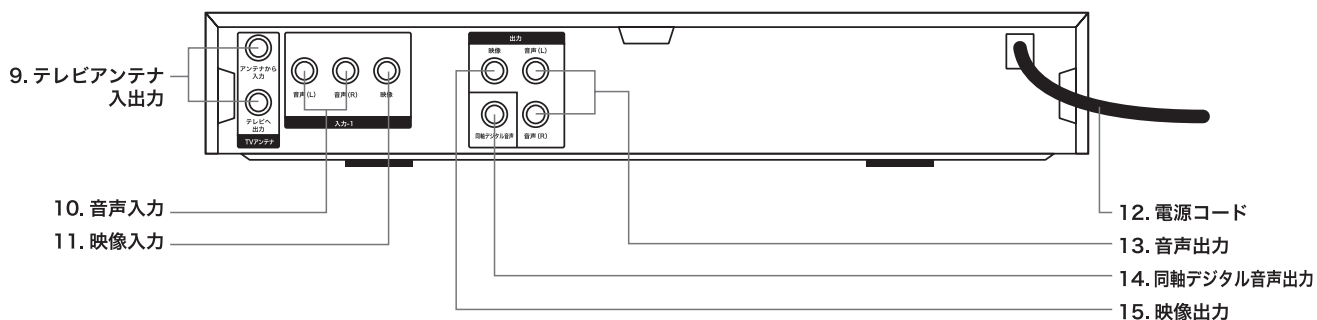
各部の機能について

・レコーダー本体の機能紹介

・リモコン機能紹介

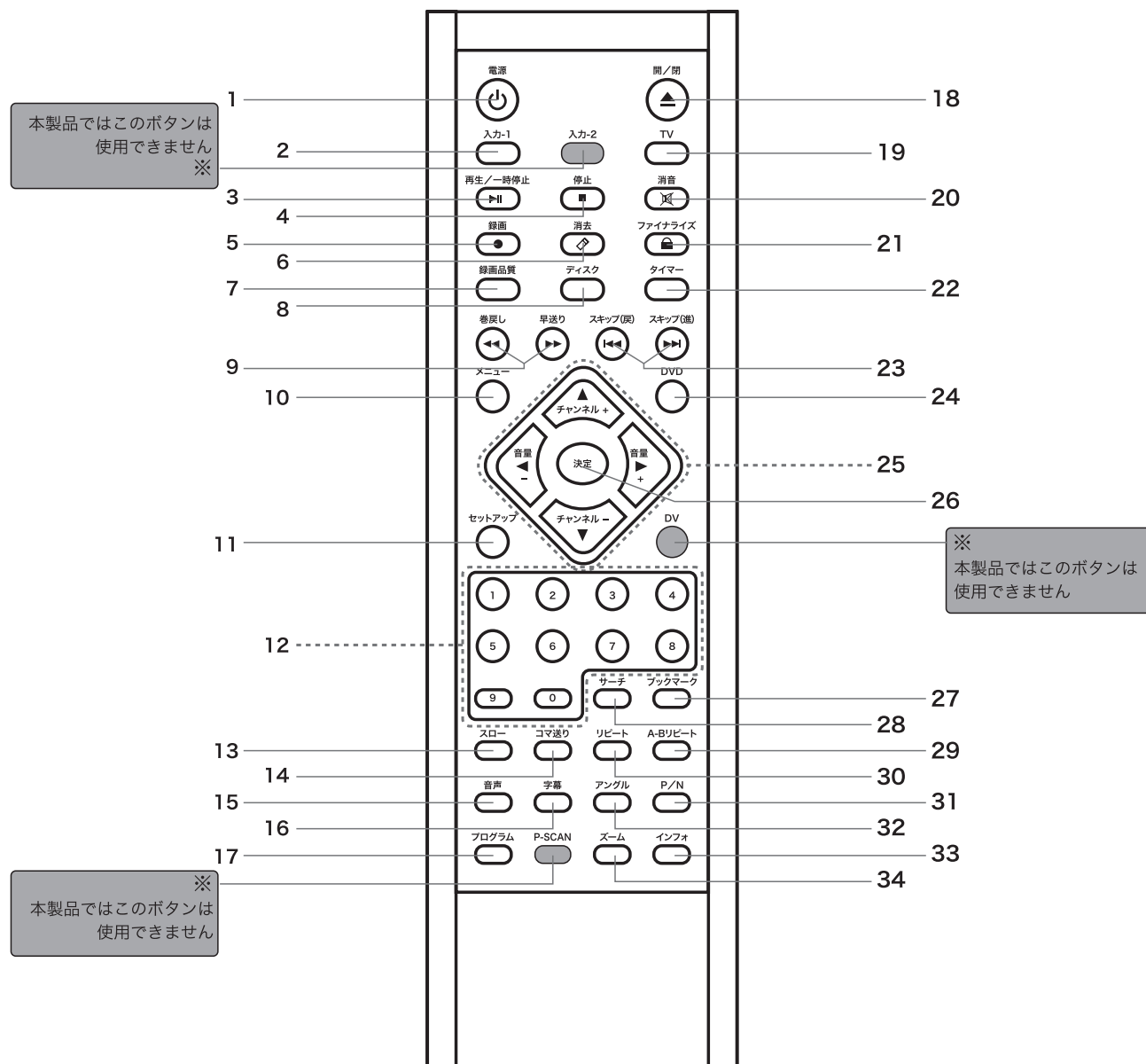
■レコーダー本体

レコーダー本体の各部機能を紹介します。下図と、右の機能説明表を照らし合わせてご覧ください。

●レコーダー上部

●レコーダー前面

●レコーダー背面

●レコーダー本体／機能説明表

左図の番号	名　称	機能説明
1	開／閉	ディスクトレイの開閉を行います。
2	再生／一時停止	ディスクの再生、及び再生中の一時停止をします。
3	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
4	録画	現在の入力元（AV 入力、TV）から録画可能ディスクに録画します。
5	停止	再生中に一度押すと、再生位置を記憶して停止し、二度押すと再生位置の記憶は消去されます。
6	ディスクトレイ	DVD や CD 等のディスクを挿入します。
7	液晶ディスプレイ	時計や、再生中ディスクの経過時間等を表示します。
8	リモコン受光部	リモコン操作はこちらを向けて行います。
9	テレビアンテナ入出力	テレビアンテナを接続します。
10	音声入力	2ch 音声の入力部です。
11	映像入力	コンポジット映像の入力部です。
12	電源コード	家庭用コンセントに接続します。
13	音声出力	2ch 音声の出力部です。
14	同軸デジタル音声出力	同軸デジタル音声入力対応の AV アンプ等の出力部です。
15	映像出力	コンポジット映像の出力部です。

■リモコン

リモコンのボタン機能をご紹介します。下図と、右の機能説明表を照らし合わせてご覧ください。

●リモコン／機能説明表

左図の番号	名　称	機能説明
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
2	入力（外部入力）	背面の外部 AV 入力に切り替えます。
3	再生／一時停止	ディスクの再生／再生中の一時停止をします。
4	停止	再生を停止します。一度押すと、再生位置を記憶したまま停止し、二度押すと再生位置の記憶が消去されます。
5	録画	現在の入力元（AV 入力、TV）から録画可能ディスクに録画します。
6	消去	DVD-RW に記録されている内容を消去します。
7	録画品質	録画ボタンを押して録画する時の、録画品質を切り替えます。
8	ディスク	ディスク情報等を表示します（記録可能ディスクのみ）。
9	巻戻し／早送り	再生中の巻戻し（早送り）を行います。繰り返し押すと巻戻し（早送り）スピードが切り替わります。
10	メニュー	DVD のディスクメニューを表示します。
11	セットアップ	セットアップ画面を開きます。
12	数字ボタン	数字を使った入力時に使用します。
13	スロー	遅い速度で再生します。ボタンを押す毎に再生速度が変化します。
14	コマ送り	一度押すと一時停止し、その後ボタンを押す毎に 1 コマづつ進みます。
15	音声	複数の音声が収録されているディスクの再生中に、音声を切り替えます。＊
16	字幕	複数の字幕が収録されているディスクの再生中に、字幕を切り替えます。＊
17	プログラム	チャプタ・タイトルを選択しプログラムを作成します。作成後、指定した順番でプログラム再生をします。
18	開／閉	ディスクトレイの開閉を行います。
19	TV	TV 受信画面に切り替えます。
20	消音	一時的に音声を消します。消音中に音量調整、またはもう一度消音ボタンを押すと消音が解除されます。
21	ファイナライズ	DVD-R/RW のファイナライズを行います。
22	タイマー	タイマー録画予約リストを表示します。
23	スキップ（戻／進）	戻る：前のチャプターの頭出しをします。 進む：次のチャプターの頭出しをします。
24	DVD	DVD や CD の再生画面に切り替えます
25	方向ボタン（上下／左右）	上下：選択項目を上下に移動します。また TV モードではチャンネルを切り替えます。 左右：選択項目を左右に移動します。また音量調節にも使用します。
26	決定	選択項目を確定します。
27	ブックマーク	DVD 再生中に、ブックマークとして登録した場面を呼び出せるようにします。短く押す→任意の場面の登録／長く押す→ブックマーク一覧画面の呼び出し。
28	サーチ	指定のタイトル、チャプターにジャンプします（インフォボタンでキャンセル）。
29	A-B リピート	指定した区間を繰り返し再生します。
30	リピート	ディスクのチャプタ／タイトル／全てを繰り返し再生します。
31	P ／ N ボタン	テレビ方式（PAL ／ NTSC）を切り替えます。
32	アングル	複数のアングルが収録されているディスクを再生中に、アングルを切り替えます。＊
33	インフォ	ディスクの再生状態を表示します。
34	ズーム	DVD 再生中に押すと、映像が拡大／縮小表示になります。

＊ …DVD によっては、ボタン操作が無効になる場合があります。その場合は DVD ソフトのタイトルメニューから、各種切り替え等の操作を行なってください。

Chapter 9

本機の設定をする

・録画に関する設定をする

・音声／映像に関する設定をする

・ディスクに関する設定をする

・言語、テレビ、の設定をする

・日付、時刻の設定をする

・スクリーンセーバー（画面保護）の設定をする

・工場出荷時に戻す

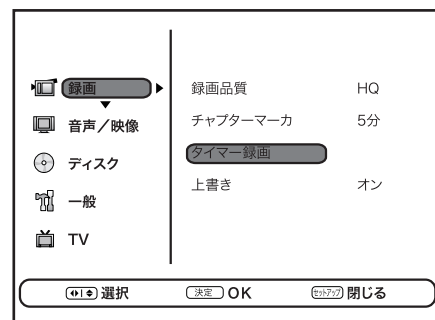
・TV チューナーの設定する

Chapter 9　本機の設定をする

設定手順

セットアップボタンを押し、セットアップ画面を開くと、使用環境の設定ができます。上下左右ボタンで選択項目を移動し、決定ボタンで決定します。

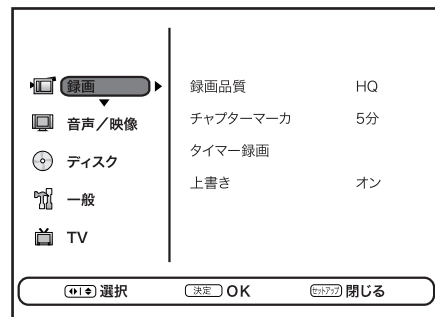
再びセットアップボタンを押すと、セットアップ画面は閉じます。

本画面より設定できる項目は以下の通りで、具体的な内容・操作に関しては各ページで紹介しています。

※ディスク再生中、またはディスクが入っている状態では、選択できない項目があります。

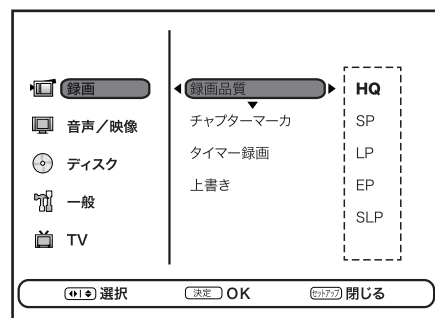
録画

録画に関する設定をします。

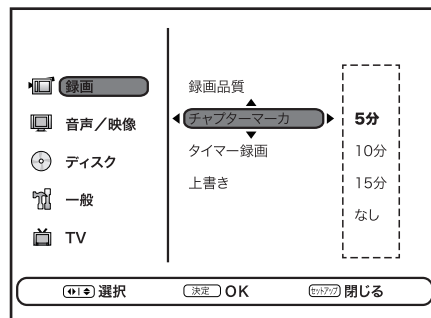
セットアップボタンを押してセットアップ画面を開き、一番左上にある項目「録画」を選択した状態で右ボタンを押してください。上下ボタンを押して各設定項目に移動してください。

選択項目が現れますので、さらに右ボタンを押し、上下ボタンで選択し決定ボタンを押すと設定が変更されます。

●録画品質

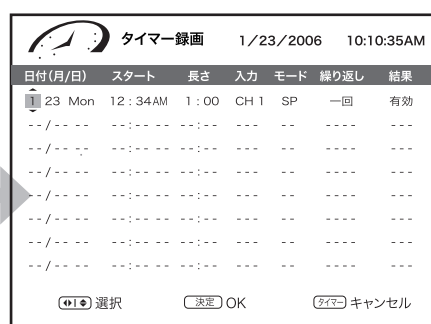
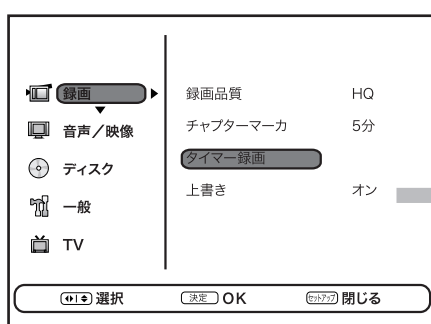
録画ボタンを押してディスクに録画する際の品質を選択します。品質を下げると、DVD への録画時間が長くなります。

録画品質	ディスク１枚あたりの録画時間
HQ　最高画質	１時間
SP　通常画質	２時間
LP　中画質	３時間
EP　低画質	４時間
SLP　最低画質	６時間

●チャプターマーカ

録画したとき、チャプターの区切りが、一定の時間おきに自動的に付加されます。

- **5分**
- **10分**
- **15分**
- **なし**

●タイマー録画

タイマー録画予約の画面を開きます（画面 A）。

タイマー録画の操作については、「Chapter 5　DVD に録画する」をご覧ください。

A

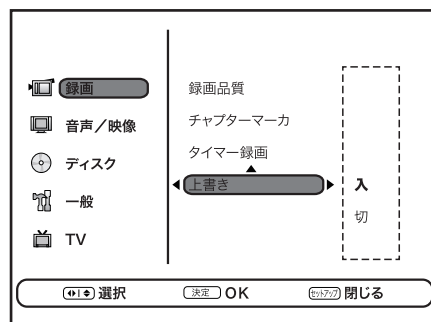
●上書き（DVD-RW のみ）

この設定項目をオンにすると、録画時に空き容量が確保できない場合、記録した内容を消去して、新しい内容に上書きします。

※上書きの設定を行うことで、自動的に録画内容が消去され、大切な記録が失われるおそれがあります。大切な記録があるディスクを使用する場合は、この設定項目をオフにするか、タイトルの保護を行ってください。

ディスクに充分な空き領域があっても、それが連続したものでなければ上書きを行うことはできません。

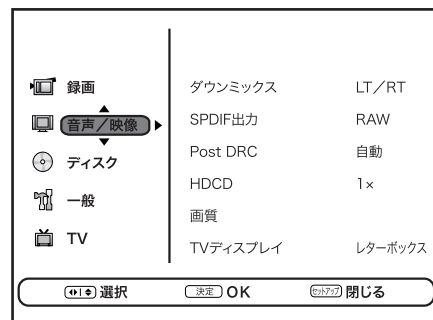
…このような場合、上書きの設定をオンにしても書き込めるのは 30 分です。

※ DVD の再生中は、操作できません。

音声／映像

音声／映像に関する設定をする

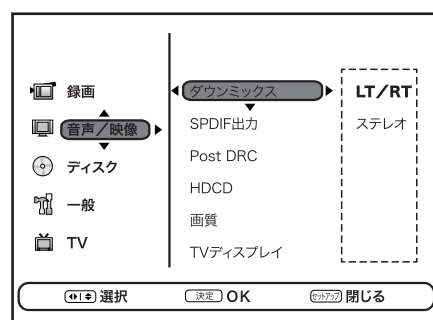
セットアップボタンを押してセットアップ画面を開き、下方向ボタンを押して音声／映像を選択して右ボタンを押してください。上下ボタンを押して各設定項目に移動してください。

選択項目が現れますので、さらに右ボタンを押し、上下ボタンで選択し決定ボタンを押すと設定が変更されます。

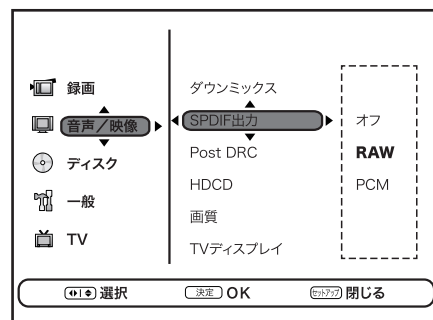
右図の表示中の「TV ディスプレイ」の下にも設定項目があります。下ボタンで移動すると表示されます。

●ダウンミックス

5.1ch サラウンド対応のディスクを左右 2 つのスピーカーを使用して再生する場合の、スピーカーの設定を行います。

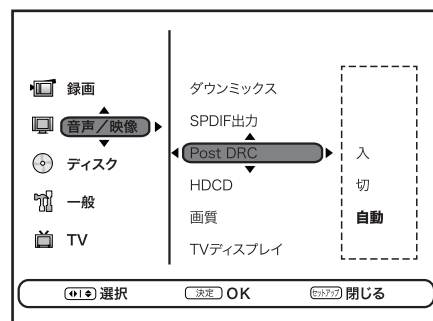
※この設定は赤白の音声ケーブルを使用し、テレビや外部アンプに接続した場合のみ有効です。

- **LT/RT**　：サラウンドの音声を、両方のスピーカーで出力します。
- **ステレオ**：5.1ch サラウンドの音声を、左右 2 つのスピーカーで出力します。この設定にすると、左サラウンドの音声は左から、右サラウンドの音声は右から出力されます。

● SPDIF 出力

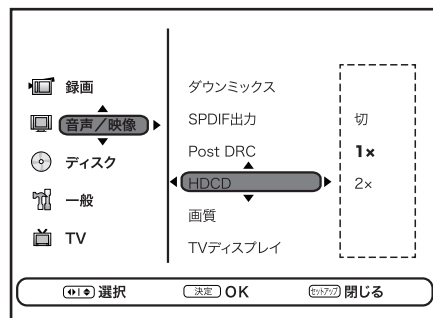
デジタル音声出力端子を用いて、外部デジタルアンプに接続した場合、デジタル信号の送り方を設定します。

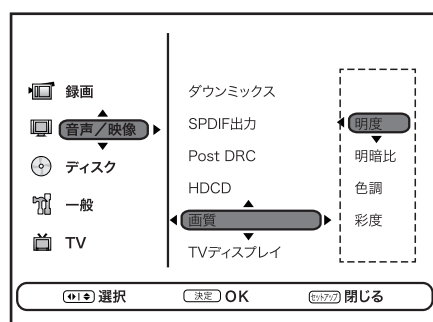
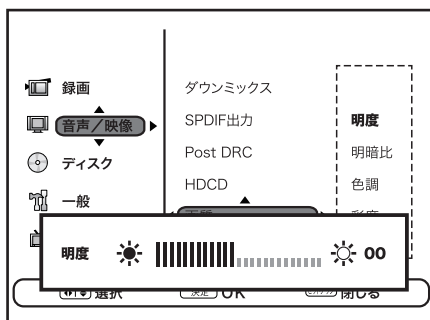
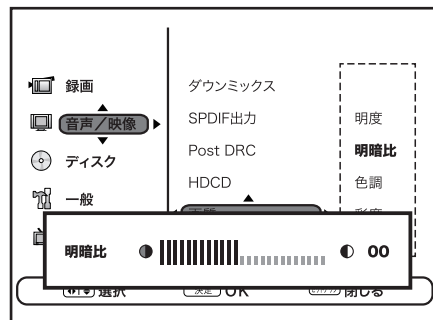
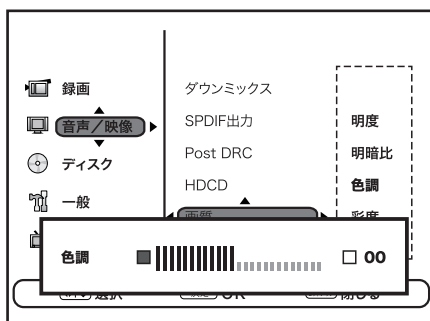
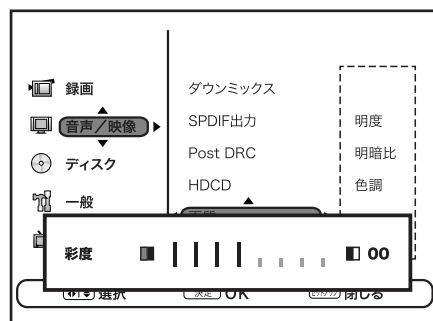
- **オフ**　：デジタル音声出力を行いません。
- **RAW**：ドルビーデジタル、dts などのデジタル音声信号を、接続されたデジタルアンプにそのまま送ります。ドルビーデジタル／ dts に対応したアンプをお使いの時は、こちらを選択してください。
- **PCM**：ドルビーデジタル信号を、リニア PCM に変換して、接続されたデジタルアンプに送ります。ドルビーデジタルに対応していないアンプをお使いの場合は、こちらを選択してください。

● Post DRC

過大な音量でスピーカーが破損するのを防ぐための設定です。

- **入**　：中音が段階的に変化します
- **切**　：音量の調節は行われません
- **自動**：音量によって、自動的に調節します

● HDCD

HDCD を再生する時の設定です。

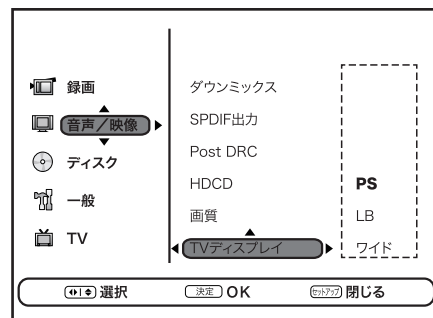
- **切** ：HDCD を、通常の CD の音質で再生します
- **1×** ：HDCD や CD を、サンプリング周波数 44.1KHz で再生します。
- **2×** ：HDCD や CD を、サンプリング周波数 88.2KHz で再生します。

●画質

画面の調整ができます。
設定したい項目を選択後に決定ボタンを押し、表示される目盛りで調整してください。

- **明度**
  画面の明るさを調節します。

- **明暗比**
  画面の明暗比（コントラスト）を調節します。

- **色調**
  画面の色合いを調節します。

- **彩度**
  色の濃さを調節します。

● TV ディスプレイ

再生する DVD と、接続する TV モニターの画面比率に関する設定です。この設定は、ワイド映像（画面比率 16：9）の DVD を再生する時に有効になります。

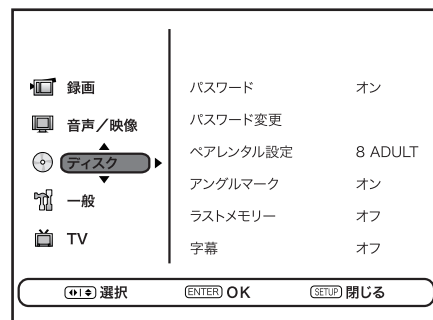
• PS（パン&スキャン）
16:9 の映像の中央を切り取り、4:3 比率のテレビ全体を使って表示します。

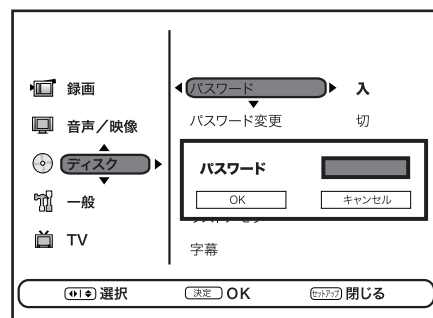
• LB（レターボックス）
16:9 の映像を比率を保ったまま縮小し、上下に黒帯を表示させ、4:3 比率のテレビの左右にフィットさせます。

• ワイド
16:9 の映像を、16:9 のテレビに表示させるときに選択します。

※ DVD の収録内容によっては、パン＆スキャンを選択してもレターボックスで表示される場合があります。
※ DVD の再生中は、操作できません。

ディスク

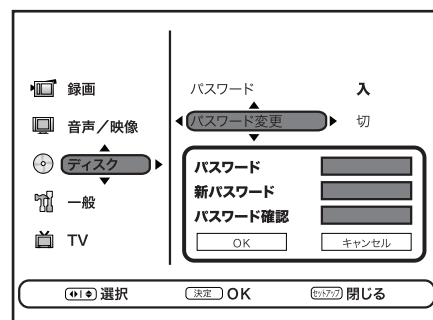
ディスクに関する設定をする

セットアップボタンを押してセットアップ画面を表示し、下ボタンを押して「ディスク」を選択し、右ボタンを押すと、ディスクに関する設定が可能になります。

●パスワード

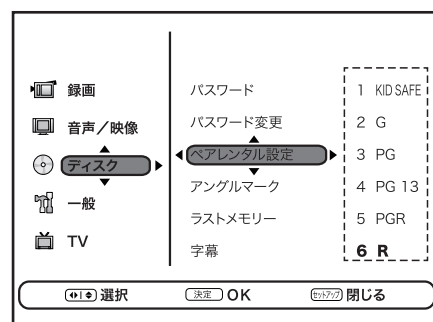
ペアレンタル設定の変更の際にパスワードを入力する必要がある場合は「入」に、直接変更できるようにするには「切」を選択してください。
この設定を変更する時、パスワードの入力を要求されます。

●パスワード変更

パスワードの変更を行います。

古いパスワードと、新しいパスワードを入力し、確認のためにもう一度新しいパスワードを入力して OK を選択して決定ボタンを押してください。

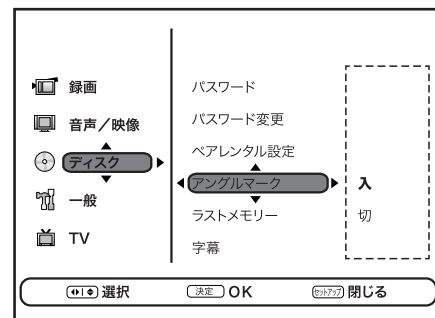
※工場出荷時のパスワードは 000000 です。

●ペアレンタル設定

視聴年齢制限（ペアレンタルロック）の設定を行います。８つのレベルがあり、１が最も視聴年齢制限が厳しく、レベルが上がるごとに対象年齢が上がります。DVD に設定された視聴年齢制限がここでの設定を超えていると、再生が制限されます。視聴年齢制限を設けない場合は８を選択してください。

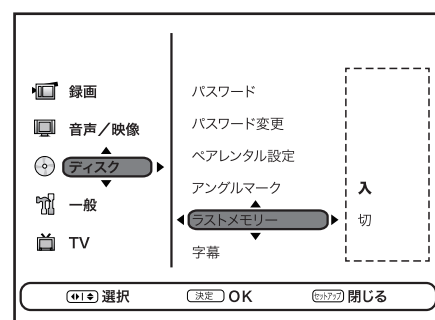
1.KID SAFE ：幼児にも安心して視聴できる
2.G ：全年齢に適している
3.PG ：子供に見せる前に保護者が内容を検討する必要がある
4.PG 13 ：13 歳未満は保護者の厳重な注意が必要
5.PGR ：やや成人向けだが、親の指導が必要
6.R ：17 歳未満は保護者の同伴が必要
7.NC17 ：18 歳未満の視聴を禁止
8.ADULT ：成人向け

※ペアレンタル設定画面を開いた当初は、画面上に７･８は表示されていませんが、６R を選択した時に下ボタンを押すと隠れていた７・８が現れます。
※設定を変えるときにパスワードの入力が必要な場合があります。正しいパスワードを入力すると、設定が変更されます。
※成人向けなどの表示のある DVD ソフトであっても、ディスク作成時にペアレンタルの設定が行われていない場合があります。その際、ここでの設定は無効になります。
※ DVD の再生中は、操作できません。

●アングルマーク

複数の映像アングルが収録されているディスクの再生中は、映像アングルの切り替えが可能です。アングル切り替えが可能なシーンで、画面にアングル変更が有効であることを示すマークを表示するか選択できます。

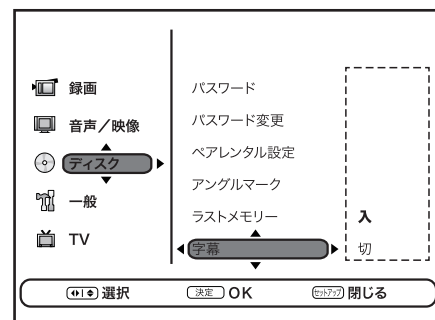
- **入**：アングルマークを表示する
- **切**：アングルマークを隠す

●ラストメモリー

DVD 再生中にディスクを取り出したときに、再生位置を記憶することができます。再びディスクを挿入した時、続きから再生できます。

- **入**：ラストメモリー機能を有効にします
- **切**：ラストメモリー機能を無効にします（必ず先頭から再生します）

●字幕

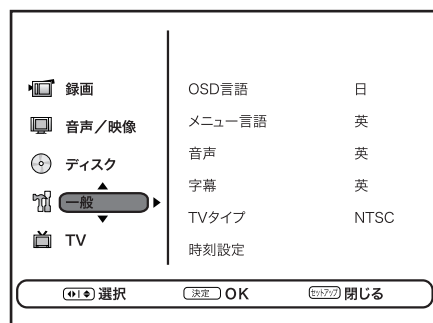
クローズドキャプションに対応した特殊な DVD について、クローズドキャプションを表示するか切替えます。

※字幕ボタンで表示される機能とは異なります。また、DVD によっては、同等の機能が字幕で用意されていることがあります。

一般

言語、テレビの設定をする

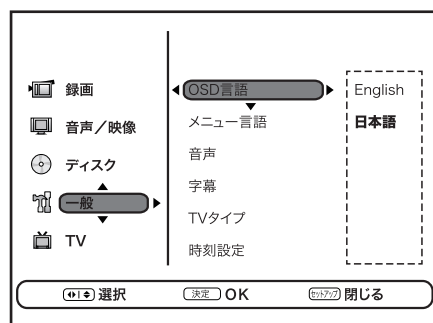
セットアップボタンを押してセットアップ画面を開き、下方向ボタンを押して「一般」を選択して右ボタンを押してください。上下ボタンを押して各設定項目に移動してください。

選択項目が現れますので、さらに右ボタンを押し、上下ボタンで選択し決定ボタンを押すと設定が変更されます。

右図の表示中の「時刻設定」の下にも設定項目があります。下ボタンで移動すると表示されます。

● OSD 言語

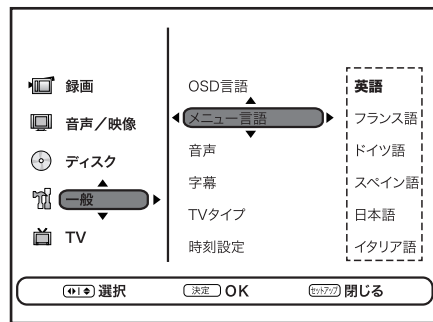
画面に表示される言語を切り替えます。

- **English（英語）**
- **日本語**

※本書では、「日本語」を選択した場合の表記に従って説明しております。

●メニュー言語

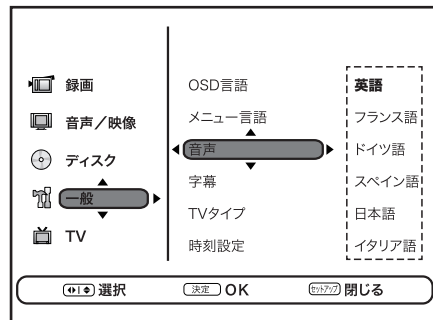
DVD メニューで表示される言語の選択を行います。DVD によっては、選択された言語の DVD メニューが用意されていない場合があります。

- **英語**
- **ドイツ語**
- **日本語**
- **フランス**
- **スペイン**
- **イタリア語**

※ DVD の再生中は、操作できません。

●音声

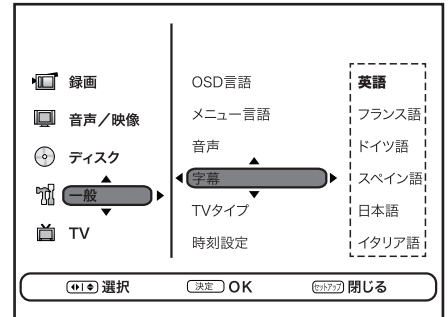
DVD 再生中の音声言語を選択できます。DVD によっては、選択された言語の音声が出力する場合があります。

- **英語**
- **ドイツ語**
- **日本語**
- **フランス**
- **スペイン**
- **イタリア語**

※ DVD によっては、ここでの設定が無効になります。この場合は音声ボタン、または DVD ソフトのディスクメニューに表示される音声の設定を使用し、音声言語を設定してください。
※ DVD の再生中は、操作できません。

●字幕

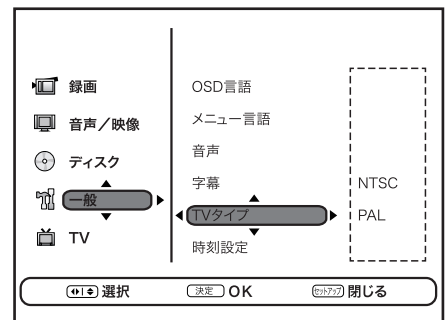
DVD 再生中に表示される字幕の言語を選択できます。DVD によっては、選択された言語の字幕が表示されない場合があります。

• 英語　• フランス　• ドイツ語
• スペイン　• 日本語　• イタリア語

※ DVD によっては、ここでの設定が無効になります。この場合は字幕ボタン、または DVD ソフトのディスクメニューに表示される字幕の設定を使用し、字幕言語を設定してください。
※ DVD の再生中は、操作できません。

● TV タイプ

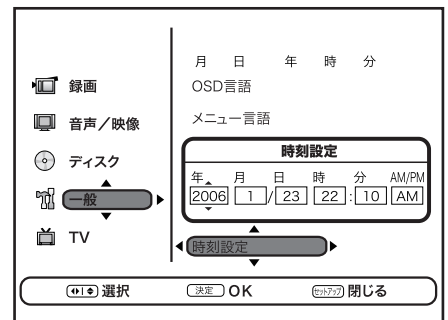
接続されているテレビの規格を選択します。

• **NTSC** ：北米、日本などで採用されている方式
• **PAL** ：フランスを除く旧西側ヨーロッパ、中国などで採用されている方式

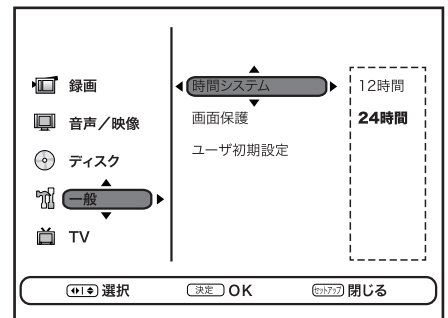
※誤った方式を選択すると、画面が乱れたり、全く映らなくなったりすることがあります。
※日本のテレビのほとんどは NTSC 方式です。通常は NTSC を選択してください。

■日付、時刻の設定をする

「時刻設定」を選択して決定ボタンを押すと、現在の時刻を変更できます。
時計は定期的に調整を行なってください。

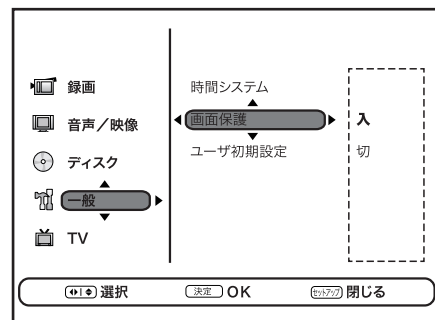
●時刻設定

本体にセットされている現在時刻の変更ができます。時計の定期的な調整を行なう場合や、停電等で日付・時刻が初期化された場合、ここで設定し直すことができます。
左右ボタンで選択項目を移動し、上下ボタンで数値を変更します。時刻を合わせたら、決定ボタンを押してください。
※画面は 24 時間制のものです。12 時間制に変更することもできます。

●時間システム

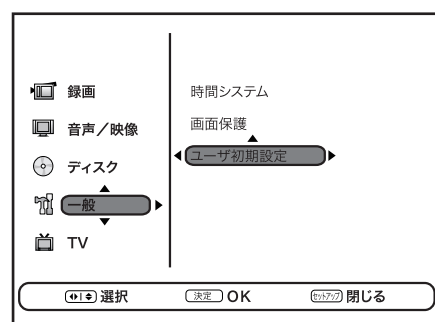
12 時間制と 24 時間制を切り替えることができます。この設定は時刻設定、およびタイマー録画予約で有効です。
時間システムを選択し、右方向ボタンを押して、12 時間／ 24 時間を選択してください。

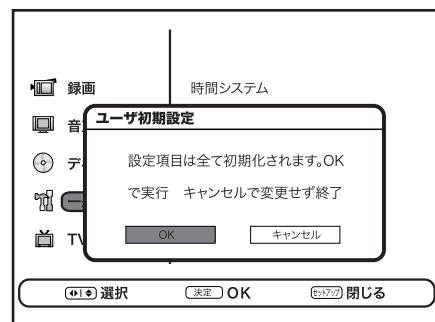
※時間システムの表示
「時間システム」は、セットアップ画面内「一般」を選択した時点では画面に表示されていません。「一般」内で選択カーソルを下に移動していくと、「時刻設定」の下に隠れていた「時間システム」を含むその他項目が表示されるようになります。

■スクリーンセーバー（画面保護）の設定をする

長時間同じ画面を表示させることで生じる画面の焼き付けを防ぐため、DVD の再生を停止し、「Digistance ロゴ」画面を表示したまま一定時間経過した時に、スクリーンセーバーが起動します。

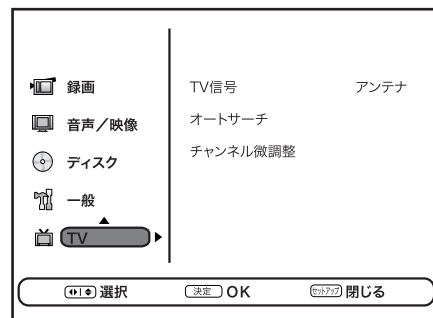
画面保護を選択して右ボタンを押し、入／切を切り替えてください。

> ※画面保護の表示
> 「画面保護」は、セットアップ画面内「一般」を選択した時点では画面に表示されていません。「一般」内で選択カーソルを下に移動していくと、「時刻設定」の下に隠れていた「画面保護」を含むその他項目が表示されるようになります。

■工場出荷時に戻す

セットアップ画面「一般」＞「ユーザ初期設定」を選択して決定ボタンを押し、確認画面で OK を押すと、全ての設定項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

> ※ユーザ初期設定の表示
> 「ユーザ初期設定」は、セットアップ画面内「一般」を選択した時点では画面に表示されていません。「一般」内で選択カーソルを下に移動していくと、「時刻設定」の下に隠れていた「ユーザ初期設定」を含むその他項目が表示されるようになります。

※ユーザ初期設定を実行すると、ご購入後に設定を切り替えていた項目は全てリセットされ、元に戻すことはできません。また、実行後には再度チャンネルの読み込みや時計の設定をする必要があります（→ P12 参照）。
※ DVD の再生中は、操作できません。

TV

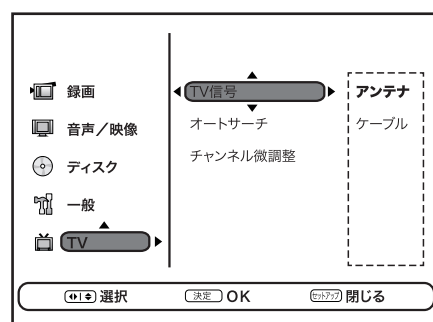
TV チューナーの設定する

セットアップ画面の「TV」を選択して右ボタンを押し、TV チューナーに関する設定を行います。

● TV 信号

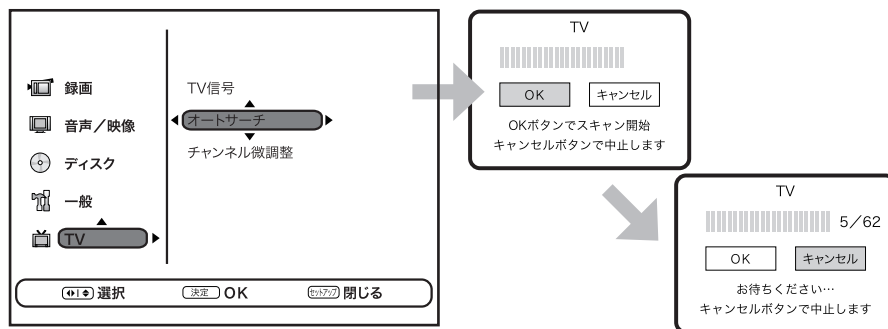
地上波のみを受信するか、ケーブルテレビも受信するかを選択します。

- **アンテナ**：地上波のみを受信します。
- **ケーブル**：地上波の他、ケーブルテレビも受信します。

設定を変更した後は、必ず「オートサーチ」を行ってください。

※ケーブルテレビの電波にスクランブル信号がかけられている場合は、受信できません。
※ケーブルテレビ用チューナーを外部 AV 入力端子に接続して使用する場合は、「ケーブル」に設定する必要はありません。

●オートサーチ

受信可能なチャンネルを自動的に探します。TV 信号の切り替えを行った後や、引っ越し等で別の地域で使用する時は、必ず実行してください。

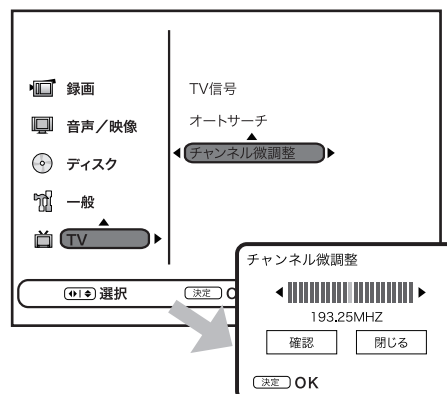
オートサーチを選択して決定ボタンを押し、確認ウィンドウで OK を選択して決定ボタンを押すと、オートサーチが開始されます。

●チャンネル微調整

現在受信中のチャンネルについて、周波数の微調整を行います。TV の映像が白黒になっている場合、または若干砂嵐が混じる場合、周波数の微調整によって改善される場合があります。

TV ボタンを押してモードを切り替え、微調整を行いたいチャンネルに合わせます。続いてセットアップボタンを押してセットアップ画面を表示させ、「TV」＞「チャンネル微調整」と選択して決定ボタンを押します。

左右ボタンで周波数を変更します。「確認」を選択して決定ボタンを押すと、そのチャンネルの周波数が変更されます。

「閉じる」を選択して決定ボタンを押すと、チャンネルの周波数は変更せずにこの画面を閉じます。

※アンテナの周辺に建物がある等、電波の受信状況が明らかに悪い場合はこの方法では改善されません。

Chapter 10

故障かな？ と思ったら

・トラブルシューティング

・テレビ方式（NTSC・PAL）について

Chapter 10　故障かな？　と思ったら

修理に出す前に、本章の内容をお読みになり、もう一度点検をしてください。それでも問題が解決されない場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせの上、製品型番と故障の内容をなるべく詳しく報告してください。

■電源

●電源が入らない

・電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。

・電源コードが断線していないことを確認してください。

●映像が出ない

・本体の映像出力端子と、テレビの入力端子を、AV ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。

・テレビの入力切替が正しいことを確認してください。

■映像

●映像が乱れる

・本製品とテレビの間にビデオデッキ等を接続している場合や、ビデオ一体型テレビと接続する場合、コピーガード信号が入るため、映像が乱れる場合があります。ビデオではなく、直接テレビに接続してください。

・映像ケーブルが切れかかっていませんか？　映像ケーブルを新しいものと交換してください。

・誤ってＰ／Ｎボタン、またはセットアップ画面で「PAL」を選択したことが考えられます。セットアップ画面を閉じ、Ｐ／Ｎボタンを操作して、テレビに合ったモードを選択してください。

●本機の入力端子につないだ機器の映像が映らない

・ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

・本体の映像入力切替で、接続した入力が選択されていることを確認してください。

・外部機器がコピーガード信号を発したため、映像が乱れて表示される場合があります。

■テレビ

●本機で受信しているテレビ放送の映像が汚い

・周波数の微調整を行ってください。セットアップ画面「TV」＞「チャンネル微調整」を選択してください。

・アンテナ入力がしっかりと行われていることを確認してください。

●チャンネルを変えられない

・録画中は本機のチャンネルを変更できません。裏番組をごらんになりたい場合は、TV 本体の入力切替を行ってください。

●特定のチャンネルに合わせられない。特定のチャンネルの録画予約ができない。

・セットアップ画面「TV」＞「オートサーチ」から、オートサーチを行ってください。

・電波が弱いため、オートサーチを行ったときにそのチャンネルが受信できなかった可能性があります。アンテナの向きを調整するか、市販のアンテナブースターで電波を増幅してください。

●本体の電源を入れると、TV の映像が乱れる

・アンテナ入力と、アンテナ出力が逆に差し込まれていませんか？

■音声

●音声が出ない

・消音ボタンが押されていませんか？　もう一度消音ボタンを押すか、音量を変更してください

・赤・白の音声ケーブルが、音声出力端子とテレビの音声入力端子に正しく接続されていますか？

・音声ケーブルが断線していませんか？

・（デジタル音声出力の場合）セットアップ画面の「音声／映像」＞「SPDIF 出力」で、「オフ」が選択されていると、デジタル音声出力から音声が出ません。

・停止、一時停止、スロー再生、早送り、巻き戻しの状態になっていると、音声が出ません。

・DTS 非対応のアンプや、AV ケーブルでテレビに接続した場合等は、DTS の音声は出ません。DVD メニューから DTS 以外の音声を選択してください。

● 5.1ch サラウンドですべてのスピーカーから音が出ない

・アンプからサテライトスピーカーに音声ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また、ケーブルが断線している可能性がありますので、確認してください。

・DVD ソフトが 5.1ch サラウンドに対応していることを確認してください。また、DVD メニューから音声設定を行い、5.1ch サラウンドが選択されていることを確認してください。

■録画

●録画されていない

・録画禁止の信号（コピーガード）が入った放送、外部機器からの映像は録画できません。

・ディスクに連続した空き容量が十分になかったことが考えられます。

・ディスクに傷がついていたり、汚れていたりしていて、書き込

みが不完全に行われた可能性があります。ディスクを替えて録画を行ってください。
・ディスク1枚あたり、48 タイトルまでしか録画できません。
・RW の場合、繰り返し録画、消去を繰り返すと、録画が不安定になる場合があります。ディスクを初期化するか、ディスクを交換して録画を行ってください。
・ファイナライズ処理、またはディスク保護が行われていると、録画することができません。

●タイマー録画がうまくいかない

・ディスクの空き容量が不足していたことが考えられます。
・現在時刻が正しくセットされていなかったことが考えられます。本製品内蔵の時計は、定期的に正しい時刻に調整してください。
・午前（AM）、午後（PM）を正しく設定していますか？
・タイマー録画予約画面で入力するのは開始時刻と録画時間です。終了時刻ではありません。

●録画した内容が勝手に消去されている

・DVD-RW の場合、セットアップ画面「録画」＞「上書き」の設定が「オン」になっていたことが考えられます。消去したくない場合は「オフ」にしてください。

■再生

●ディスクトレイが開かない

・初期セットアップ画面での設定が完了していないとき、ディスクトレイが開かない仕様になっています。

●ディスクが再生しない

・ディスクが入っているか確認してください。
・録画されていないディスクが入っていませんか？
・ディスクがトレイの上に正しくのせられていますか？
・ディスクが裏返しになっていませんか？
・パソコン用の CD-ROM など、本機で再生できないディスクを入れていませんか？
・他の DVD レコーダーでファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。また、ファイナライズが行われている場合でも、互換性の関係で、再生できない場合があります。
・ディスクに傷が入っていたり、汚れていたりすると、読み込めない場合があります。
・DVD-RAM は使用できません。
・リージョンコードの異なるディスクは再生することができません。
・本機は CPRM に対応しておりません。デジタル放送を記録した DVD を再生することはできません。

●録画した映像にモザイクが出る

・デジタル映像圧縮の関係で、画面に大きく四角いモザイク状のもの（ブロックノイズ）が表示されます。特にテレビのサイズが大きい時や録画時間が長いモードでは、モザイクが顕著に表れます。
・ディスクが汚れていたり、傷がついていたりして、正しく読み込めなかった可能性があります。

●ディスクの再生が最初から始まらない

・セットアップ画面「ディスク」＞「ラストメモリー」を「オフ」にしてください。

●停止、巻き戻し、早送り、頭出しができない

・DVD ソフトによっては、これらの操作を禁止している場面があります。

●音声言語を変更できない

・再生中のディスクに複数の音声が収録されていますか？
・音声切替を禁止しているディスクを再生していませんか？
・DVD メニュー、またはリモコンの音声ボタンを押して言語を選択してください。

●字幕を変更できない

・再生中のディスクに字幕が収録されていますか？
・字幕を変更したり、字幕を消去することを禁止しているディスクを再生していませんか？
・DVD メニュー、またはリモコンの字幕ボタンを押して字幕を選択してください。

●クローズドキャプションが表示されない

・DVD がクローズドキャプションに対応していない場合があります。
・DVD の中には、字幕機能で同等の機能が用意されている物もあります。

●アングルが変更できない

・アングル切替が有効でない場面を再生していませんか？
・アングルの変更を禁止している DVD を再生していませんか？
・DVD メニューでアングル切替の操作をしてください。

■リモコン

●リモコンが効かない

・リモコンの乾電池が消耗されています。本体付属の乾電池は、動作確認用ですので、すぐに寿命になることがあります。
・リモコンの乾電池の＋と−が逆に装着されていませんか？
・リモコンを本体受光部に向けて操作してください。
・リモコンを本体から遠いところで操作しないでください。
・リモコンから本体の間に障害物がないことを確認してください。
・DVD ソフトによって、停止、早送り、巻戻し、頭出し等の操作ができない場面があります。
・リモコンのボタンのいずれかがめり込んで、常に押された状態になっていませんか？
・リモコンの「入力 -2 ／ DV ／ P-SCAN」の 3 ボタンは本製品では使用できません。

●リモコンで他の機器が誤動作する

・他の機器を本体と違う向きに向けてください。

■テレビ方式（NTSC・PAL）について

NTSC 方式、PAL 方式とは、各国で採用されているテレビの方式であり、国によって異なります。テレビの方式は３種類ありますが、本機では NTSC、PAL に対応しております。

NTSC 方式	日本、北米等
PAL 方式	フランスを除く旧西側ヨーロッパ、中国等

テレビ方式は、リモコンの P/N ボタン、またはセットアップ画面「一般」＞「TV タイプ」から変更ができますが、誤った方式を選択しないでください。

誤って変更したために､映像が乱れたり､何も表示されなくなったりした場合は、リモコンの P/N ボタンを押して、映像が正しく映る方式に戻してください。

Chapter 11

その他

・商標について

・用語集

・仕様

Chapter 11　その他

■商標について

●DVDマークは、DVD-Video の統一マークです。
●CDマークは、ビデオ CD、オーディオ CD の統一マークです。
●ドルビー、ドルビーデジタル、DOLBY およびダブル D 記号 DDマークは、ドルビーラボラトリーズ社の登録商標です。

その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標または登録商標です。

■用語集

● CPRM
Content Protection for Recordable Media。主にデジタル放送で、一度だけコピー可能な番組を録画する時に使われる方式です。映像データは暗号化して記録されるため、デバイスキーを持っている機器でなければ再生できず、コピーもできません。

● DTS
デジタルシアターシステムズ社が開発した音声デジタル圧縮技術です。マルチチャンネルサラウンドに対応しており、高水準のデジタル音声が楽しめます。ドルビーデジタルより高音質ですが、対応するデジタルアンプが必要です。

● DVD-R
一度だけ書き込み可能な DVD の方式です。DVD-R に記録したものは、一般的な DVD プレーヤーやパソコンの DVD-ROM などで再生できる可能性が最も高いです。

● HDCD
High Definition Compatible Digital。通常の CD-Audio は音楽情報が 16 ビットでエンコードされているのに比べ、HDCD は 20 ビットでエンコードされているため、音の表現力が高くなっています。

● MB
情報量の単位で、約 100 万バイトが 1 MB です。DVD 1 枚あたり、およそ 4000MB 程度記録できます。

● MP3
MPEG-1 Audio Layer-3 の略で、デジタル化された音声を圧縮する音声ファイルフォーマットの一つです。CD 1 枚分の音声データが、1／10 程度まで圧縮できるのが特長です。

● NTSC
主に北米、日本等で採用されている、アナログテレビの方式です。

● OSD
オン・スクリーン・ディスプレイの略です。設定を画面上で行って操作する機能です。

● PAL
主にフランスを除く旧西側ヨーロッパ、中東、中国、オーストラリア等で採用されているアナログテレビの方式です。

● SPDIF
ソニーとフィリップス社が共同開発した、デジタルオーディオ出力の規格です。主に光デジタル音声出力と、同軸デジタル音声出力の２種類があります。

● XviD
オープンソースで開発されているフリーのビデオ圧縮形式です。MPEG-4 の技術が元になっています。

●アングル
DVD の中には、同一時間軸に、複数の場面が収録されていることがあります。それを切替えて表示することができます。

●インターレース
始めに走査線の奇数番目を表示させ、続いて偶数番目の走査線を表示させることにより、短い時間で滑らかな動きを実現します。

●拡張子
ファイル名につけられている、「.」より後ろの英字３、４文字です。これにより、パソコンは、ファイルの形式と、どのアプリケーションで開くかを判断します。

●クローズドキャプション
耳の不自由な人が放送を楽しめるようにするために、台詞を全て文字情報として表示させる機能です。

●コピーガード
DVD、VHS などの記録メディアを複製できないよう、著作権者が保護をかけたものです。

●チャプター
DVD に収録されている曲、場面の区切りで、タイトルより小さな単位です。１つのタイトルには複数、または単一のチャプターで構成されています。

●ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声のデジタル化方式です。ほとんど全ての DVD プレーヤーで再生ができ、デジタルアンプ等に接続してマルチチャンネルサラウンドの音声を楽しむことが可能です。

●ファイナライズ
DVD レコーダーで録画したものを、他の DVD プレーヤーで再生できるよう、互換性を高める処理です。

●ペアレンタルロック

視聴年齢制限であり、青少年にとって好ましくない表現を含むDVD の視聴を制限する仕組みです。

●リージョンコード

公開前の DVD ソフトが、公開されている国から流入するのを防ぐため、DVD ソフトおよび DVD プレーヤーに設定されている番号です。その番号は国ごとに決まっており、DVD プレーヤーは、他の番号が設定されている DVD ソフトを再生することができません。

●リニア PCM

アナログ音声信号を、デジタル信号に変換する方式です。データの圧縮はありません。DVD や CD に採用されています。

■製品仕様

型番	DS-DR106
電源	100 ～ 240V　50/60Hz
消費電力	30W（待機時：8W）
重量	2.02kg
本体サイズ	300×260×57mm（横幅 × 奥行 × 高さ）
テレビ方式	NTSC ／ PAL
録画モード	ビデオモード
出力端子	映像出力 ×1 系統／音声出力（L/R）×1 系統
	同軸デジタル音声出力 ×1 系統／アンテナ出力
入力端子（本体背面）	映像入力 ×1 系統／音声入力（L/R）×1 系統／アンテナ入力
再生可能メディア	DVD-video・DVD-R/RW・CD・CD-R/RW（MP3・JPEG・MPEG4）
	DVD（PCM48KHz 再生時）：20Hz ～ 20KHz（±3dB）
周波数特性	DVD（PCM96KHz 再生時）：20Hz ～ 20KHz（±3dB）
	CD 再生時：20Hz ～ 20KHz（±3dB）
デコーダー	ドルビーデジタルデコーダー
ビデオ DAC	12Bit ／ 108MHz
オーディオ DAC	24Bit ／ 192KHz
S/N 比	≧ 80dB
ダイナミックレンジ	≧ 90dB
記録可能なディスク	DVD-R・DVD-RW
録画品質	HQ ／ SP ／ LP ／ EP ／ SLP
録画時間（4.7GB VIDEO 方式）	HQ：1 時間／ SP：2 時間／ LP：3 時間／ EP：4 時間／ SLP：6 時間
予約プログラム	8 プログラム／月
受信チャンネル	VHF/UHF：1ch ～ 62ch　90MHz ～ 770MHz
	CATV：C13 ～ C63 108MHz ～ 468MHz
許容動作温度	5℃～ 35℃
製造国	中国

製造元

株式会社ゾックス

〒 231-0033　神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13 TK 関内プラザ 304

ホームページ：http://www.zox-net.com

カスタマーサポートセンターへのお問い合わせはこちらまで

0120-602-302

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時　※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。